平成１７年度
神戸大学附属図書館年次報告

平成１８年７月
編集：神戸大学附属図書館評価委員会

＊附属図書館ホームページにも掲載

http://www.lib.kobe-u.ac.jp/overview/

平成１７年度神戸大学附属図書館年次報告

１．達成度評価

（1）達成度評価特記事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ．１
（2）達成度評価表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ．２

２．学習・教育支援

（1）開館サービス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ．６
（2）学生用資料整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ．７
（3）資料提供サービス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ．９
（4）情報リテラシー教育の推進支援・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ．１０
（5）設備・機器の整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ．１２

３．学術研究支援

（1）研究用資料の整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ．１４
（2）電子的情報基盤の整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ．１６
（3）蔵書目録データベースの整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ．１９
（4）資料の保存・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ．２０
（5）その他の研究支援サービス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ．２１

４．社会連携・情報発信

（1）一般市民への資料提供サービス・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ．２２
（2）震災文庫・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ．２３
（3）電子図書館システムによる情報発信・・・・・・・・・・・・・・ｐ．２４

５．管理運営等

（1）図書館組織と運営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ．２６
（2）事務組織と人事管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ．２８
（3）予算及び財務会計業務・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ．３１
（4）施設整備・システム整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ．３３
（5）図書館界での諸活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ．３５

＜付録＞

基本統計表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ｐ．３７
　　蔵書・受入等の現況（各館室別）
　　サービス業務の現況（各館室別）
　　電子的情報サービスの現況

図書館組織図・事務組織図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ｐ．４０
附属図書館諸会議（議題一覧、委員名簿）・・・・・・・・・・・ ｐ．４１
附属図書館予算・決算表（運営経費、資料費）・・・・・・・・・ ｐ．５０
附属図書館活動日誌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ｐ．５２

１．達成度評価

(1) 達成度評価特記事項

項　目	「財務内容の改善」
特記事項	(管理的経費の節減) 管理的経費の抑制に努め、法人化後の2年間で約5％を節減し、事業経費を維持･拡大した。 主な管理運営費の節減事項は、以下のとおりである。 ･賃金等　業務合理化･効率化による非常勤職員雇用の抑制 ･印刷費　図書館要覧･利用案内のWeb化等 ･消耗品費　節約　･職員旅費　節約 ･光熱水料　節約、契約単価の低減効果 ･業務委託　清掃範囲･頻度等の見直し
項　目	「自己点検･評価及び情報提供」
特記事項	(年次報告書の拡充と利用者アンケート調査実施) 平成15年度年次報告書に引き続いて平成16年度版を作成しホームページで公開した。平成16年度版は、各活動の記載内容を拡充したほか、達成度評価を掲載、部局予算決算、図書館統計等の評価指標データを充実した。 さらに、学生対象の利用者アンケートを実施し(平成17年10月)、2,509名(全学生の14.3%)から回答を得た。集計結果及び分析を行い、報告書を作成、図書館HP上に公開した(平成18年3月)。現在、アンケートに寄せられた学生の意見をもとにサービス改善等について検討を進めている。
項　目	「その他業務運営に関する重要事項」
特記事項	(自然科学系図書館の改装) 自然科学系図書館の既設スペースの用途を見直し、サービスエリアの拡大を実現した。部局長裁量経費等を活用して、平成15年度末から3回に分けて実施したもので、サービススペースは1,373㎡から1,577㎡へ、閲覧座席数は181席から215席へ、利用者用パソコンは28台から42台へ、開架書架収容力は68,000冊から88,000冊へとそれぞれ増加した。主要な改装･移設は以下のとおり。 ･開架図書室の拡大　4階事務室を縮小し、開架図書室に改装 ･パソコン･コーナーを3階から2階に移設、拡大 ･サービスカウンターを2階から1階に移設 　雑誌書庫利用アクセスの改善、1階ロビーの有効活用、開架図書室の拡大 ･旧ロッカー室をグループ学習室に改装
項　目	「教育研究等の質の向上」
特記事項	(図書館資料展示会の開催) 平成17年11月、図書館資料展示会(「近代神戸の足跡－神戸大学附属図書館所蔵資料から」)を開催した。1週間の開催期間中、学内外から750名の入場者があり、好評であった。また、今回の展示会に出展した資料(約90点)及び解説文をデジタル化し、電子図書館に掲載、図書館ホームページから展示会を再現し、公開している。 図書館展示会のページ http://www.lib.kobe-u.ac.jp/2005tenjikai/2005tenji_hokoku.html (学生用資料整備の進展) 平成17年度当初予算で図書館学生用資料費の増額(41,000千円→61,000千円)が認められ、各館室の学生用資料の整備が大きく進展した。昨年度策定した「学生用資料整備に関する考え方」、「学生用資料整備計画大綱」に基づき、各館室毎に「平成17年度学生用資料整備計画」を立案･実施した。各館室とも、シラバス掲載図書の網羅的収集、学生希望図書の拡充を実現した。 なお、平成18年度には、平成17年度の上記整備に対する評価を実施する予定である。 (図書館審議会「教育研究支援強化のための諸施策の具体化について」答申) 平成17年10月、学長より「教育研究支援強化のための諸施策の具体化について」諮問を受け、附属図書館審議会において、「教育研究基盤資料の維持･整備方策」及び「神戸大学機関リポジトリ構想」の検討を進め、3月に答申した。

(2) 達成度評価表

平成17年度附属図書館の活動総括として、附属図書館年次計画に対する達成度自己評価表を示す。

全学中期計画 (図書館年次計画関連部分のみ抜粋)	附属図書館年次計画	自己評価	自己評価判断理由
Ⅰ　大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置 1　教育に関する目標を達成するための措置 (4) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置 ○教育設備，図書館，情報ネットワーク等の活用・整備の具体的方策 ・全学共通教育等の実施に必要な図書館機能を整備するとともに，教室・専門図書，映像音響資料等の学生用資料を充実させる。	総合図書館開架閲覧室の書架・閲覧席配置見直しなど、全学共通教育科目履修生の学習環境改善を図る。(H17-18) (附属図書館)	III	平成17年度、総合図書館の学習環境改善として以下を実施した。 ・開架閲覧室にグループ学習室 (3室) を新設 ・老朽化した開架書架の一部を更新 ・個人用閲覧机の増設・更新 ・階段昇降機を新設し、2階閲覧室の有効利用を図った。 ・館内トイレの改装
	・各図書館室で不足または老朽化している家具類 (閲覧机，閲覧椅子、書架等) 、視聴覚機器、情報端末、無断持ち出し防止装置、自動貸出装置等を計画的に整備する。(H16-21) (附属図書館)	III	平成17年度、各図書館室の設備備品整備として以下を実施した。 ・情報端末の増設・機能向上 (全館室50台) ・自動貸出装置の増設 (総合) ・閲覧机・椅子の増設・更新 (総合・社会系・医学・海事) ・大閲覧室閲覧机の机上照明器具の更新 (社会系) ・グループ学習室家具の更新 (自然系)
	・各館室において、閲覧・学習環境の改善を図る (既設スペースの有効活用による閲覧室の拡張・図書収容力の増加、空調設備の更新等) 。(H16-21) (附属図書館)	III	平成17年度、各図書館室の閲覧学習環境の改善として以下を実施した。 ・グループ学習室の増設 (自然系：旧ロッカー室を改装) ・除湿機の増設 (人文)　　・じゅうたんの張替 (人間図開架室) ・図書館入り口ドアの交換 (人間)　・閲覧室に網戸取付 (海事・社会系：蚊対策) ・老朽ブラインドの更新 (海事・社会系)　・絵画修復 (社会系2階ホール)
	・全学共通教育に対応する総合図書館、及び専門教育を支援する各専門図書館・分館において、選書方法の見直し等の体制整備を行い、学部学生に必要な教養・専門図書 (シラバス掲載図書を含む) を幅広く網羅した系統的な資料収集に努める。(H17-18) (附属図書館)	IV	平成17年度当初予算で図書館学生用資料費の増額 (41,000千円→61,000千円) が認められ、各館室の学生用資料の整備が大きく進展した。昨年度策定した「学生用資料整備に関する考え方」、「学生用資料整備計画大綱」に基づき、各館室毎に「平成17年度学生用資料整備計画」を立案・実施した。各館室とも、シラバス掲載図書の網羅的収集、学生希望図書の拡充を実現した。 なお、平成17年度の上記整備に対する評価は、次年度実施する予定である。
(6) 学生への支援に関する目標を達成するための措置 ○学習相談，助言及び支援の組織的対応に関する具体的方策 ・附属図書館においては，資料提供や情報検索などのサービスの迅速化と高度化を図るとともに，情報教育を積極的に支援する。	・情報リテラシー教育支援体制を強化し、入学段階・教養教育・学部専門教育といったレベルや、専門分野を考慮した、きめ細かなオリエンテーション、ガイダンスを実施する。(H16-18) (附属図書館)	III	昨年度に引き続き、1年次必修科目「情報基礎」の1/2コマで図書館サービスの概説を担当。(延べ29回、約2800名受講) その他のガイダンス・操作説明会は、年間63回開催し延べ500名が受講した。 なお、学生に配布する利用案内は、平成18年度に向けて全学版と各館室版の準備を進めている。
	・各専門分野におけるガイダンス資料の掲載、図書館メールマガジンの発行など、図書館ホームページ等からの学生に対する情報提供を強化する。(H17-19) (附属図書館)	III	図書館の各種ガイダンス資料36種を分野別に整理し、図書館HPに掲載。情報基礎のテキスト「情報基礎(6.2)：図書館システムの利用－図書館ホームページを有効に使うために－」、「資料探索Q＆A」を作成、図書館HPに掲載。図書館HPを改訂 し、記事レイアウトの変更、分野別表示機能・新規メニューの追加を行った。主な学生に対する情報提供強化としては、シラバス掲載図書情報の提供、百科事典データベースJapanKnowledgeの提供を開始した。図書館HP (トップページ) へのアクセス件数は、月平均 57000件を超え、前年度比2割増となっている。 また、全学の広報誌「KOBE university STYLE」4号巻頭に「知の宝庫へようこそ」(5ページ) として附属図書館の案内記事を掲載した。
	・資料配送 (デリバリ) サービスを拡充し、学部学生に対しても六甲台キャンパス内各図書館間の配送サービスを行うことを検討する。(H17-18) (附属図書館)	II	現行の資料配送サービスの利用内訳・対象資料等を分析し、サービス拡大策の検討を開始した。拡大にともなう経費及び業務量の見積に着手している。
	各図書館室の開架及び書庫内図書について目録遡及入力を計画的に推進するとともに、多言語対応など蔵書目録 (OPAC) の高度化をはかる。(H16-21) (附属図書館)	III	引き続き遡及入力事業を実施し、当初計画の4万冊入力を達成した。内訳は、以下のとおり。 ・研究所図書館洋書 (15,015冊) 国立情報学研究所との共同事業 ・人文科学図書館及び国際文化学図書館 (18,823冊) 外部委託作業 ・その他研究室返却資料等 (約7,000冊) 職員作業 図書館業務システムを更新し蔵書目録 (OPAC) は多言語対応としたほか、検索機能の改善を実現した。
	・学部学生・大学院生 (社会人学生等を含む) などの利用動向を把握したうえで、平日の開館時間延長・休日開館の拡大など十分な開館時間の確保を検討する。 (H16-18) (附属図書館)	III	時間外開館の利用動向、利用者アンケートの分析等をもとに平日夜間及び休日開館の拡大案を作成し、平成18年度事業計画により予算要求を行った。
2　研究に関する目標を達成するための措置 (1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置 ○研究活動支援のための具体的方策 ・研究活動の支援のため，教員のみならず，研究支援職員に対する研修等も含め，自発的能力向上のための機会を増やし，また，図書館・学内共同利用施設など機能の充実を図る。	・専門的情報サービスが行えるよう、専門主題に関する一定の知識及び専門資料に関する知識を持った職員の育成を図る。(H16-21) (附属図書館)	III	新任・転任の職員を対象に「初任者等研修」(3日間) を館内で実施。 学外の各種図書館関連研修、情報関連研修、専門主題 (漢籍・古典籍・医学等) に関わる研修に職員を派遣。

全学中期計画 （図書館年次計画関連部分のみ抜粋）	附属図書館年次計画	自己評価	自己評価判断理由
(2) 研究実施体制等の整備に関する目標を達成するための措置 **○研究に必要な設備等の活用と整備に関する具体的方策** **・附属図書館においては，電子資料等を含む学術情報の収集と提供，外国雑誌センター館機能，他大学等との協同及び電子図書館システムによる情報発信など，研究支援機能の整備・強化を図る。**	・電子ジャーナルや基本的な二次情報データベース等の電子情報の整備を進め、全学的な学術情報基盤の構築を図る。(H16-18)（附属図書館）	III	電子ジャーナル利用に係る全学経費措置、電子ジャーナル・データベースに係る間接経費の配分を受け、約5,400誌の電子ジャーナルとデータベース39種を全学に提供中。 2006年の電子ジャーナルを含む外国雑誌購読の財源確保について、全学財務委員会で経費補填方法を検討し全学的な合意を得た。さらに、中期的な整備方策についての学長諮問を受け、図書館審議会において2007年以降の整備方針、財源確保策等の検討を進め、3月に「教育研究基盤資料の維持・整備方策」を答申した。
	・人文・社会科学分野の学術雑誌に関する全国共同利用の拠点図書館として、外国雑誌センター館機能の整備に努める。(H16-21)（附属図書館）	III	引き続いて約1,000誌の外国雑誌を収集・提供し、全国に文献複写サービスを提供。 社会系図書館の複写作業を外部委託し、複写受付を中断することなく安定したサービス提供を実現している。
	・一次資料（図書・雑誌等）の十分な整備に努める。特に、各専門分野の基幹的部分に欠落が生じないよう、継続的かつ系統的な収集体制を構築する。(H16-21)（附属図書館）	III	平成17年度は、部局購読外国雑誌に多くの中止があり、部局等図書資料費は対前年比大幅な減少となった（一般財源：5.2億→4億弱）が、全学経費の補填を得て、各分野の研究基盤として重要な電子ジャーナルの利用は維持することができた。 部局購読外国雑誌の大幅減を契機として、継続的かつ系統的な収集体制構築の必要性について全学的な関心が高まり、10月から図書館審議会において、2007年以降の研究基盤資料の整備方針、財源確保策等の検討を進め、3月に「教育研究基盤資料の維持・整備方策」を答申した。
	各図書館室の開架及び書庫内図書について目録遡及入力を計画的に推進するとともに、多言語対応など蔵書目録（OPAC）の高度化をはかる。（H16-21）	III	引き続き遡及入力事業を実施し、当初計画の4万冊入力を達成した。内訳は、以下のとおり。 ・研究所図書館洋書（15,015冊） 国立情報学研究所との共同事業 ・人文科学図書館及び国際文化学図書館（18,823冊） 外部委託作業 ・その他研究室返却資料等（約7,000冊） 職員作業 図書館業務システムを更新し蔵書目録（OPAC）は多言語対応としたほか、検索機能の改善を実現した。
	・本学の蔵書では満たされない情報要求にも十分応えるため、海外を含めた図書館間相互利用の拡大と、電子的手法を駆使した迅速な提供体制を構築する。(H16-18)（附属図書館）	III	米国図書館との図書館相互利用（GIF）システムに参加し、利用者に広報を開始。 平成13年度から運用しているDDS（ドキュメント・デリバリー・システム）装置が老朽化しているため、各館設置複写機のスキャナ機能を活用したDDSに変更することを検討し、平成18年度から運用開始の予定。
	・電子図書館システムのコンテンツ充実と検索機能の高度化を図る。(H16-21)（附属図書館）	III	引き続き、科学研究費研究成果公開促進費の交付を受け新聞記事文庫の事業を継続した。（約37,000記事を電子化、累計は約13万件） 電子図書館事業費により、震災資料（約300点、累計4,400点）・学内研究成果等のコンテンツ作成を継続実施した。
3 その他の目標を達成するための措置 **(1) 社会との連携に関する目標を達成するための措置** **○地域社会等との連携・協力，社会サービス等に係る具体的方策** **・附属図書館においては，夜間及び休日開館を含め，資料提供等による生涯学習の支援を行い，地域社会への貢献を図る。**	・附属図書館が所蔵する情報資料を地域住民の生涯学習等に利用できるよう、一般市民への資料提供サービスの充実を図る。(H16-18)（附属図書館）	IV	図書館利用規程、利用細則を改正し、一般市民への館外貸出を総合・国際文化学図書館と海事科学分館で開始した。 図書館資料展示会（「近代神戸の足跡－神戸大学附属図書館所蔵資料から」）を実施、公開。学内外から750名の入場者があり、好評であった。展示品はデジタル化しHPから公開している。
	・地域の公共図書館等との間で、相互利用や研修活動など、積極的な連携協力を図る。(H16-18)（附属図書館）	III	平成17年度は、兵庫県大学図書館協議会の研修担当館を務め、研究会・講演会を企画・実施し、公共図書館からも多数の参加を得た。昨年度に引き続いて、兵庫県大学図書館協議会加盟館の公共図書館・一般市民サービスの一覧を作成し、県立図書館を通じて県内公立図書館に提供した。（同協議会の会長館、企画委員館としての活動） EUIJ（EUインスティテュート・イン・ジャパン）関西コンソーシアムに基づき、関西学院大学及び大阪大学附属図書館との受講学生の図書館相互利用に係る協定を締結した。 また、神戸市立上野中学校（神戸市灘区）の「トライやるウィーク」に協力し、中学生の就労体験を受け入れた。（4名、5日間）
	・「震災文庫」を地域住民や防災関係者等の幅広い研究ニーズに応えるため、資料の収集とデジタル化を更に進め、最大規模の関連資料コレクションとして、広く社会に公開する。(H16-21)（附属図書館）	III	震災文庫開設後10年が経過し、資料数が4万点を超えた。引き続き資料収集を進めるとともに、震災文庫電子化も継続した。 平成17年の閲覧者数 約300名、新規受入 1,500点、電子コンテンツ作成 300点（累計4,400点）、HPアクセス数 82,000件
	・図書館所蔵貴重資料・学内研究成果情報のデジタル化を更に推進し、電子図書館から学内知的資源を社会に公開発信する窓口（ポータル）機能を整備する。(H16-21)（附属図書館）	III	科学研究費研究成果公開促進費の交付を受け、新聞記事文庫の事業を継続。電子図書館事業費により、震災資料・学内研究成果のコンテンツ作成を継続。 5月より研究開発室において「機関リポジトリ」構築に向けた検討を開始。10月には、学長諮問に基づき図書館審議会「神戸大学機関リポジトリ構想」について検討を開始し、3月に答申したほか、教育研究活性化支援経費を得て「機関リポジトリ構築のための基礎調査」（教員アンケート、他大学調査、試行システムの立上げ）を実施した。
○地域の公私立大学等との連携・支援に関する具体的方策 **・近隣の公私立大学等が集合する会議等において，教育研究交流を推進するとともに，大学関係に関する様々な課題について意見交換を行い，問題解決にあたっての連携を図る。**	・引き続いて、兵庫県大学図書館協議会の中心的な図書館として活動し、県内公私立大学図書館との連携を強化する。(H16-21)（附属図書館）	III	引き続き協議会会長館を努め、総会・研究会活動等を運営。 兵庫県大学図書館協議会加盟館の名簿様式の改訂を総会に諮り、平成18年度から名簿様式の変更及び相互協力便覧作成を決めた。同協議会企画委員会で様式を決定し、加盟館に提案、了承された。

全学中期計画 (図書館年次計画関連部分のみ抜粋)	附属図書館年次計画	自己評価	自己評価判断理由
II　業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置 **1　運営体制の改善に関する目標を達成するための措置** **○全学的視点からの戦略的な学内資源配分に関する具体的方策** **・経営・財務分析を行うとともに，大学予算の学内配分方式の見直しを行い，教育研究活動の活性化を図る。**	学生用図書やデータベース・電子ジャーナルなど全学共同利用する研究基盤資料を計画的・安定的に提供するため、全学経費化を図る。(H17)	III	学生用資料費の増額 (41,000千円→61,000千円) 及び2005年電子ジャーナル維持のための全学経費投入が当初配分で認められた。 電子ジャーナルを含む外国雑誌購読経費については、2006年度に向けた検討が全学財務委員会で行われ、全学経費による補填方針が確認された。
○国立大学間の自主的な連携と協力体制に関する具体的方策 **・各種ブロック会議への参加や共同研修，人事交流等を通じ，大学運営に関する共通事項に関して情報交換を行い，問題解決に当たっての連携と協力を図る。**	・国立大学図書館協会を中心とする電子ジャーナルコンソーシアム、図書館間相互貸借活動、各種共同研修等の連携・協力を維持・発展させる。(H16-21) (附属図書館)	III	引き続き、国立大学図書館協会の監事館として理事会等に参加した。 電子ジャーナルコンソーシアムにも引き続き参加。 近畿地区の国公私立大学図書館の連携・協力組織の創設検討に参加。「大学図書館近畿イニシアティブ」が組織され、運営委員館として活動。
3　教職員の人事の適正化に関する目標を達成するための措置 **○事務職員等の採用，養成，人事交流に関する具体的方策** **・特別な知識を必要とする者 (例えば情報関係，特許関係，訴訟関係，診療報酬請求関係，労務管理関係等) の採用方法等を検討する。**	・地区の職員採用試験に参加し、専門性 (図書館学、情報技術、主題知識等) を考慮した図書系職員採用を行う。(H16-21) (附属図書館)	III	近畿地区国立大学法人等職員採用図書系専門試験実施委員会の委員館として活動した。 平成17年4月に上記試験合格者を1名採用した。
・専門性の向上を図るための専門研修の実施等について検討する。	・新しい図書館経営等に関する知識のほか、専門的情報サービスが行えるよう、専門主題に関する一定の知識及び専門資料に関する十分な知識を持った職員の育成を図る。(H16-21) (附属図書館)	III	新任・転任の職員を対象に「初任者等研修」(3日間) を館内で実施。 学外の各種図書館関連研修、情報関連研修、専門主題 (漢籍・古典籍・医学等) に関わる研修に職員を派遣。
4　事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置 **○事務組織の機能の見直しに関する具体的方策** **・事務の一元化・集中化と並行して，事務組織の横断的かつ総合的なサービス機能を発揮できる体制について検討する。**	・学術情報収集・整備部門及び情報システム部門は業務集中化の体制を検討する。(H17-18) (附属図書館)	III	附属図書館事務部の附属図書館事務改善プロジェクトに、事務改善WGを設置し、管理部門、サービス部門の組織体制を検討。 年度後半、全学の業務改善プロジェクトに参加し、現行業務フロー作成、業務量調査を実施。全学的な立場から、課題の分析、あるべき業務フロー等を検討中。
	・利用者サービス部門は、各館への適正な人員配置をとる一方、情報リテラシー教育機能等の統括や図書館間の連絡調整にあたる部署を配置し、各館の有機的連携と一体的経営を図ることを検討する。(H17-18) (附属図書館)	III	附属図書館事務部の附属図書館事務改善プロジェクトに、事務改善WGを設置し、管理部門、サービス部門の組織体制を検討。 年度後半、全学の業務改善プロジェクトに参加し、現行業務フロー作成、業務量調査を実施。全学的な立場から、課題の分析、あるべき業務フロー等を検討中。
○事務処理の効率化と合理化に関する具体的方策 **・各種事務処理を見直すとともに，平成１７年度以降に学内ネットワークのアップグレードにより情報の共有化を図り，文書管理，全館の開催通知，会館室の予約管理など事務処理の簡素化と迅速化を図る。**	・業務処理手順の標準化 (資料分類体系の統一など) を進める。(H16-17) (附属図書館)	III	附属図書館事務部の附属図書館事務改善プロジェクトに、事務改善WGを設置し、各館業務の手順・内容を分析し、標準化を検討。 年度後半の全学業務改善プロジェクト参加に伴い、全学的な立場から再度検討を実施中。
	・利用者サービス部門は、自動化をさらに推進 (自動貸出装置・セルフコピー機等) し、効率化を図る。(H16-18) (附属図書館)	III	年度末に部局長裁量経費により総合図書館に自動貸出装置を増設し、次年度よりコイン式コピー機を増設予定 (医学分館) とし、効率化と利用利便性の向上を図った。
○業務の外部委託等に関する具体的方策 **・業務処理の点検を行い，職員の業務を分析し，費用対効果を考慮して業務の外部委託を実施し，業務の合理化に努める。**	・業務分析・コスト分析を進め、業務品質の維持及びコスト削減が期待される部分について、段階的なアウトソーシングの導入を検討する。(H16-18) (附属図書館)	III	平成17年度より学外からの文献複写に係る複写業務の外部委託を開始 (社会系)。 図書装備付、目録データ添付を条件とする学生用図書の購入を拡大。
III　財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置 **3　資産の運用管理の改善に関する目標を達成するための措置** **○資産の効率的運用を図るための具体的方策** **・継続的な施設の点検と評価を踏まえ，教育研究活動に応じた効果的なスペース配分など，施設の有効活用を推進する全学的方針の確立を図る。**	・貴重図書の管理・保管体制を整備するとともに、資料劣化への対策も検討する。(H16-21) (附属図書館)	III	平成17年度末に調査した劣化マイクロ資料のうち、劣化の激しいものの複製を作成、文書類の保管状況をチェックし、保管箱を作成、貴重な和装本について秩を作成し、管理保管状況を改善した。
	・図書資産の点検作業を適切に行うとともに、重複資料・不用資料の計画的な処分、資料保存基準の見直し等によるスペースの有効利用を図る。(H16-21) (附属図書館)	III	昨年度に引き続き、図書資産の点検を総合図・人文図・人間図・海事分館において実施した。 事務改善WGにおいて資料保存基準の見直しを検討し、図書館運営委員会に提案し、各館室の現状をもとに館室図書委員会等で対策を検討することとした。
IV　自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置 **1　評価の基本的な目標を達成するための具体的措置** **○合理的な評価システムを形成するための具体的方策** **・評価のレベルを次のように分け，これらを重層的に進めて評価を行う。**	・図書館活動全般に及ぶ自己点検評価と重点課題に即した自己点検評価、外部評価を計画的に実施し、全学の評価室の再評価を受ける体制を整備する。(H16-21) (附属図書館)	III	附属図書館評価委員会を2回開催し、平成18年度年次計画及び達成度評価を検討した。 平成17年10月に利用者アンケート調査を実施し、年度末に報告をまとめ、公開した。また、昨年に引き続き「年次報告」を作成、根拠資料の蓄積を図った。
	・利用者アンケートを定期的に実施する等により、利用者ニーズを適確に把握する体制を整備する。(H16-18) (附属図書館)	IV	平成17年10月に全学学生を対象に利用者アンケート調査を実施し、2509名 (全学生の14.3%) から回答を得た。分散館室の本学図書館において初めての全学的な調査であるが、目標の1割を上回る回答率となった。結果を分析し報告書を作成し、3月に図書館HP上に公開した。 現在、利用者アンケートに寄せられた学生の意見をもとに、サービスの改善等について検討を進めている。
部局レベル：部局において「評価委員会」を設置し，個人や部局の基礎指標並びに部局の重点課題について評価を行う。 **・評価結果については，適切な基準を定めて公表する。**	・図書館サービスの基礎的数値を指標化し、蓄積・公表する。(H16-17) (附属図書館)	III	平成16年度年次報告書を作成し、達成度評価、部局予算決算、図書館統計等の評価指標データを拡充し、図書館ホームページ上に公開した。

全学中期計画 (図書館年次計画関連部分のみ抜粋)	附属図書館年次計画	自己評価	自己評価判断理由
Ⅴ　その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置 **1　施設設備の整備等に関する目標を達成するための措置** **○施設設備の有効活用に関する具体的方策** **・施設の点検と評価を継続的に実施することにより既存施設の有効活用を図る。**	・重複資料、不用資料等の処分を計画的に実施し、累積的な蔵書増加を抑制、書架の有効利用を図る。 (H16-21) (附属図書館)	III	昨年度に引き続き、図書資産の点検を総合図・人文図・人間図・海事分館において実施した。 事務改善WGにおいて資料保存基準の見直しを検討し、図書館運営委員会に提案し、各館室の現状をもとに館室図書委員会等で対策を検討することとした。
○施設設備等の機能の充実に関する具体的方策 **・教育研究に応じたスペースの確保，充実を計画的に推進する。**	・各館室において、閲覧・学習環境の改善を図る (既設スペースの有効活用による閲覧室の拡張・図書収容力の増加、空調設備の更新等) 。(H16-21) (附属図書館)	III	平成17年度、各図書館室の閲覧学習環境の改善として以下を実施した。 ・グループ学習室の増設 (自然系：旧ロッカー室を改装) ・除湿機の増設 (人文)　　・じゅうたんの張替 (人間図開架室) ・図書館入り口ドアの交換 (人間)　・閲覧室に網戸取付 (海事・社会系：蚊対策) ・老朽ブラインドの更新 (海事・社会系)　・絵画修復 (社会系2階ホール)
2　安全管理に関する目標を達成するための措置 **○労働安全衛生法，学校保健法等を踏まえた安全衛生管理，保健管理及び事故防止に関する具体的方策** **・実験室等の安全点検を定期的に実施し，必要な補修，改修，更新等の処置を実施する。**	図書館施設・設備の安全点検に努め、利用者・職員の事故等防止のための措置を迅速にはかる。(H17-21) (附属図書館)	III	安全衛生委員の館内点検を継続実施 (週次) 。平成17年3月の産業医巡視指摘事項を改善。 全館室の時間外・休日開館時の非常時対応マニュアルを作成、全館室のカウンターに非常灯、ヘルメット、ハンドマイクを常備した。2月に「附属図書館危機管理ライブラリ」を設置した。

２．学習・教育支援

（１）開館サービス

１７年度の開館時間は以下のとおりであった。

		総合･国際	社会科学系	自然科学系	人文科学	人間科学	研究所	医学分館	保健科学	海事分館
通常期	平日	8:45-20:00	8:45-20:00	8:45-20:00	8:45-20:00	8:45-20:00	8:45-17:00	8:45-21:00	8:45-20:00	8:45-20:00
	土曜	12:30-17:00	11:00-18:00	12:30-17:00	12:30-17:00	12:30-17:00	休 館	9:00-17:00	11:00-14:00	12:30-17:00
	日曜	休 館	11:00-18:00	休 館	休 館	休 館	休 館	休 館	休 館	休 館
休業期		平日 17:00 まで 土日休館	8 月のみ 平日 17:00 まで 土日休館	平日 17:00 まで 土日休館	平日 17:00 まで 土日休館	平日 17:00 まで 土日休館	通常期と同じ	通常期と同じ	平日 17:00 まで 土日休館	平日 17:00 まで 土日休館
試験期特別開館		平日 21:00 まで延長 日祝 12:30-17:00	平日 21:00 まで延長 土日祝 11:00-18:00	平日 21:00 まで延長 日祝 12:30-17:00	平日 21:00 まで延長 日祝 12:30-17:00	平日 21:00 まで延長	通常期と同じ	通常期と同じ	通常期と同じ	平日 21:00 まで延長 土日祝 10:00-18:00

＜入館状況＞

平日フルタイムサービス時間帯の１日あたりの入館者数

	総･国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
H17/H16	1.00	1.24	0.90	0.97	0.96	－	0.98	1.06	1.02	1.02
H16 年度	1533.8	554.5	503.8	233.1	335.6	－	268.7	282.8	175.0	429.3
H17 年度	1531.7	687.5	452.1	226.8	322.3	35.1	263.6	299.5	178.3	438.3

（研究所図書館は 16 年度については正確な入館者統計が採取できていない。）

・ 17 年度から、開館時間を 15 分早めて 8:45 とした。フルタイムサービス時間帯の１日あたりの入館者数で 16 年度と比較すると、上表のとおりとなる。社会科学系図書館の伸びが著しいが、これは 16 年度のフロンティア館増築による閲覧スペースの増加など、環境改善の効果と考えられる。その他の図書館ではほぼ前年並みであるが、自然科学系図書館については１割の落ち込みが見られる。

＜夜間開館＞

平日夜間時間帯の１時間あたりの入館者数

	総･国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
H17/H16	0.95	1.49	1.13	1.02	0.91	－	1.03	0.97	0.98	1.09
H16 年度	76.5	71.2	56.9	19.6	22.3	－	20.2	27.8	13.3	37.5
H17 年度	73.0	105.7	64.5	20.0	20.4	－	20.8	27.0	13.0	41.0

・ 通常期、休業期、試験期ともに前年どおりの時間設定であった。１時間あたりの入館者数で 16 年度と比較すると上表のとおりとなる。これも社会科学系図書館で伸びが著しい。また自然科学系図書館では、時間内とは逆に若干の増がみられる。人間科学図書館で１割ほどの減が見られるが、それ以外はほぼ前年並みであった。

＜土曜・日祝開館＞

土曜・日祝日の１時間あたりの入館者数

	総･国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
H17/H16	0.96	1.90	0.85	1.10	―	―	1.00	0.69	1.02	1.05
H16 年度	12.5	35.3	23.5	7.1	―	―	13.4	6.0	8.0	16.7
H17 年度	12.1	67.3	20.1	7.9	8.6	―	13.3	4.2	8.2	17.6

・ H17 年度から人間科学図書館でも土曜開館が実施された。１時間あたりの数値で 16 年度と比較すると上表のとおりとなる。ここでも社会科学系図書館で伸びが著しい。

＜24 時間開館＞

・ 前年どおり、医学分館と自然科学系図書館で実施した。利用者数は右表のとおりで、自然系科学系図書館の利用が大きく増加した。

・ H17 年度も両者の利用者数には大きな開きがあるが、これは医学分館では主に医学科３年次以上の学生が学習に使っているのに対し、自然科学系図書館では院生以上が雑誌論文の複写のため入館するのが主であるという、利用スタイルの違いによるものである。

	自然系	医学
H17/H16	1.63	1.08
H16 年度	343	16,260
H17 年度	560	17,562

◆評価と課題

全体としてみると入館者数は若干の増加傾向にあるが、個別には社会科学系図書館が大幅に増えている。これは、施設・設備の改善が、直接的に利用者増に繋がることを端的に示したものといえる。総合大学である本学の共通教育支援を担う総合・国際文化学図書館の施設改善が、より一層望まれるところである。

今ひとつの大きな改善は、人間科学図書館で土曜開館が実現したことである。今後の利用者増を期待したい。

夜間の開館時間と土日の開館時間の延長については、夜間開講授業への対応の必要性に加え、17 年度秋に実施した利用者アンケートで学生から要望が多かったことから重要な課題となっていた。本学は多数のサービスポイントを抱えることから経費面が問題であったが、18 年度に開館時間の延長についての予算追加があり、図書館の運営費と併せて、18 年 4 月から次のように実施することとした。

夜間開館　：　総合・国文、社会科学系、自然科学系の 3 館で、21:30 に延長
土曜開館　：　医学分館、研究所図書館を除く７館で、10:00～18:00 に延長
日曜開館　：　社会科学系図書館で、10:00～18:00 に延長

なお、社会科学系図書館以外の日曜開館については、利用度や費用対効果を検討し、18 年度の実施は見送ることとした。

（２）学生用資料整備

館室別の蔵書数、受入図書冊数、資料費総額等は別添基本統計の通りである。

＜資料費予算と重点整備＞

・ 図書館予算（図書館セグメント）として各館室に配分する経費と、サービス対象部局から拠出された経費（部局セグメントの図書資料費）を合わせて、各館室の学生用資料整備を行う予算構造となっている。

・ 17 年度は図書館予算として 6,100 万円(内重点配分 1,000 万円を含む)を学生用資料費として措置し、各館室に配分するとともに研究所図書館にも館室分として 100 万円を配分した。16 年度と比べて 2,000 万円の増額となった。これは部局拠出分が減少するなかで、学生用図書費の増額を最重点の事項として要求し、部局拠出分と合わせ計画的で着実な資料整備を目指すことが認められたことによる。
・ 18 年度においても、この資料整備計画は維持され図書館予算としては 6,300 万円（内重点配分 1,000 万円、e-study 資料費 300 万円を含む）規模とし、あらたに学習用として広くネットワークで利用できる辞書、事典等を導入するための予算として「e-study 資料費」を設けて、部局拠出分と合わせて引き続き学生用図書資料の充実をめざす。
・ 17 年度の重点整備は 16 年度に引き続いて総合図書館に 400 万円、あらたに人文科学系の国際文化学図書館、人文科学図書館、人間科学図書館に各 200 万円を配分して整備した。
・ また、16 年度に実施した装備付納品（総合 1,640 冊、自然系 1,228 冊）を、総合・国際文化学図書館（4,554 冊)、社会科学系図書館（519 冊)、自然科学系図書館（863 冊)、人間科学図書館（1,046 冊)、保健科学図書室（395 冊）に拡大して省力化・合理化を進めた。

＜各館室の整備状況＞

H17 受入	総合	国際	社会	自然	人文	人間	医学	保健	海事
図書冊数	5590	1279	5032	2178	1682	1920	1462	1114	2471
雑誌種数	96	61	43	174	23	172	68	119	285

・ 各館室では配分された資料費をもとに関係部局のシラバス図書の購入をはじめとして各館室の資料整備を行った。

＜選書体制と収集方針＞

・ 16 年度に「学生用資料整備計画大綱」（附属図書館運営委員会決定）に基づき各館室図書委員会にて学生用図書資料の範囲、選定体制・方法等の整備計画の策定を行った。
・ 総合図書館では「総合図書館学生用資料整備計画」を策定するとともに学生用資料整備を推進するため「総合図書館資料選定委員会」（構成委員は職員）を立ち上げて具体的な選書スケジュール、選書手順などについて検討し、資料整備を進めた。

◆評価と課題

学生用資料費の図書館予算が大幅に増額され概ね要求は満たされたものとなっている。しかし、一方では部局拠出分の減少傾向は続いており、学生数等からみれば不十分な点も残っている。18 年度においても図書館予算は前年度同様の予算となったことから、今後は学生用資料費の全体としての適正水準をどのあたりに置くのかを検討していく必要がある。

これまで投資の不十分であった学生用図書の早急なてこ入れを図るため、重点整備を実施してきた。16 年度においては総合図書館と自然科学系図書館に配分、17 年度は総合図書館と人文科学系の各館室に配分した。そして、18 年度は総合図書館とその他医学分館、保健科学図書室、海事科学分館に配分としている。これで、各館室に対して重点配備されたことになるが、今後は蔵書評価にもとづく整備計画を立案していく必要がある。

学生用資料整備計画大綱にもとづいて各館室において具体的な選書・収集体制が整えられたが、予算が図書館予算と部局拠出予算とで構成されている関係から部局資料費の減少によっては絶えず購入図書資料、継続図書等の見直しが必要となる。安定的な学生用図書費の確保とともに整備状況を評価しながら選書・収集体制にフィードバックすることが必要となっている。

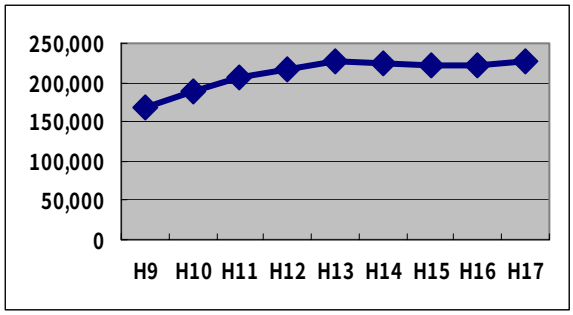
（３）資料提供サービス

入館者数、貸出冊数等は別添基本統計のとおりである。相互利用サービスについては、2(5)に後述する。

＜貸出サービス＞

・　貸出冊数等の条件面での変更など、特に運用に関係する変更は無かった。

＜貸出冊数（学生・院生）経年推移＞
＊旧商船大、研究所など当時は別組織であったところの数字も合算している。



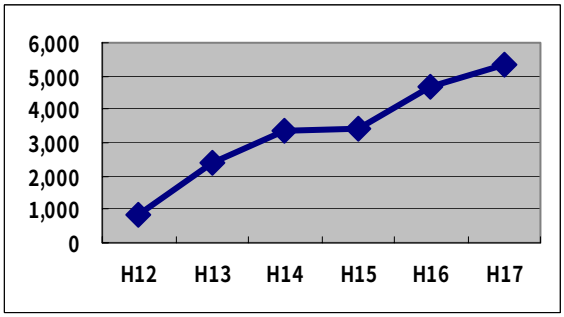
＜館室別学生・院生貸出数＞

	総･国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
H17/H16	1.01	1.07	1.02	0.88	1.03	0.84	0.88	1.14	1.06	1.02
H16 年度	63,737	61,386	29,584	14,233	16,621	2,755	8,901	11,341	14,493	223,051
H17 年度	64,125	65,741	30,069	12,581	17,182	2,319	7,867	12,953	15,371	228,208

・　社会科学系図書館、保健科学図書室、海事科学分館で貸出冊数が伸びている。特に社会科学系図書館では、入館者数の増加と照応している。
・　人文科学図書館と医学分館では約１割の減で、その他の館はほぼ前年並みである。

＜デリバリ（図書配送）サービス＞

＜デリバリサービス貸出冊数推移＞
＊１２年度は後半から開始



＜館別デリバリ貸出冊数＞

	総･国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
H17/H16	1.13	1.09	1.07	1.01	0.80	―	1.87	1.21	3.07	1.14
H16 年度	1,210	1,089	280	380	1,182	―	144	155	226	4,666
H17 年度	1,371	1,191	300	383	940	―	269	188	694	5,336

・　院生以上を対象に 12 年度からサービスを行っているが、サービスが浸透するにつれて貸出冊数の増加が続いている。17 年度は延べ申込者数 2,925 人、貸出冊数 5,336 冊で、前年比 14% 増と大幅な増加が見られた。館別では、総合・国際文化学図書館が最も多い。

◆評価と課題

・ 社会科学系図書館では開架図書が増加したことから、貸出冊数の大きな伸びが見られた。開架図書の充実や環境の整備により、入館者数と共に貸出利用も拡大するということの証左といえる。総合・国際文化学図書館の施設の改善（開架図書の増強）が強く望まれる。

・ (2)で述べたように、17 年度から総合図書館資料選定委員会による学生用図書の整備を開始したが、事務体制の準備等のため、実際の図書の入荷が年度後半にずれ込んだことから、その効果は統計にはまだ顕れていないものと思われる。今後、各館において学生用図書整備の評価を実施する予定であるが、その結果に注目したい。

・ デリバリサービスの学部学生への拡大（六甲台キャンパス間）が検討課題となっているが、現状でも年々増加していることから、かなりの経費増が必要と考えられる。試行期間をおくなど、慎重な対応が必要である。また、デリバリされる図書の内容についても調査し、複本の配置について検討する必要もある。

（4）情報リテラシー教育の推進支援

＜情報リテラシー教育支援＞

・ 16 年度より設けられた全学共通必修科目「情報基礎」では、昨年度に引き続き 1/2 コマ（約 45 分）が「図書館システムの利用」にあてられ、5 月下旬～7 月上旬を中心に計 29 回（補講・再履修を含む)、情報リテラシー係職員が講義（実習を含む）を行った。学部新入生全員に補講等を加え、約 2,800 人が受講した。

・ 図書館ホームページ上のサービス紹介を満遍なく行う従来のスタイルをやや変更し、電子図書館・研究支援等はごく簡略にとどめて OPAC（実習を含む)・パーソナルサービス等を強調することとした。18 年度に向けて、テキストの改訂も行っている。

＜オリエンテーション、ガイダンス＞

・情報リテラシー係を中心に以下のガイダンスを開催した

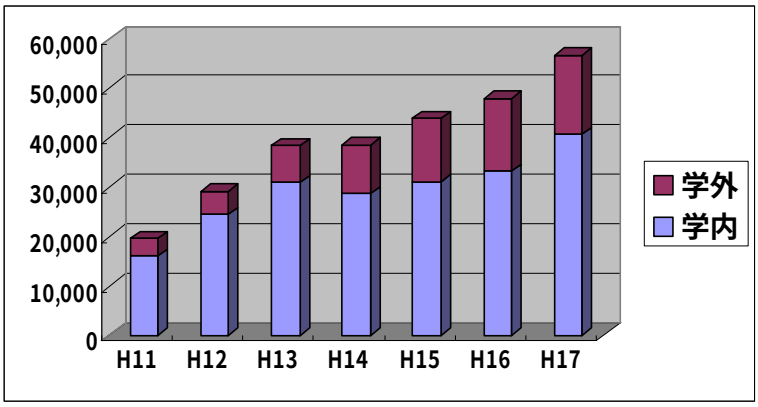
名称	内容	時期	時間	会場	回数	参加者
留学生オリエンテーション	施設紹介･利用全般	4、10 月	10 分	六甲ホール	2	約 500 名
情報の探し方ガイダンス（入門編）	OPAC の検索方法、資料入手方法	4 月中旬	60 分	総合図書館	15	137 名
情報の探し方ガイダンス（初級編）	雑誌論文検索方法「国内編」「海外編」	5 月中旬	60 分	自然系図書館	10	108 名
情報の探し方ガイダンス（中級編）	電子ジャーナル、Web of Science、図書･新聞情報、JapanKnowledge	6 月中旬	60 分	自然系図書館	10	91 名
情報の探し方ガイダンス（社会科学編）	中級編の一部と、法学情報、経済経営学情報	6 月下旬	60 分	社会系図書館	6	49 名
情報の探し方ガイダンス（秋期 初級･中級編）	雑誌論文検索、電子ジャーナル、JapanKnowledge 等	10 月下旬	60 分	総合図書館 自然系図書館	12	45 名
情報検索講習会（海事キャンパス）	電子ジャーナル、データベース	10 月下旬	90 分	基盤センター深江分室	1	36 名
SciFinder 講習会	SciFinder	6 月	90 分	自然系図書館	1	11 名
理･化学科 3 年生	雑誌論文検索（4 月） SciFinder（6 月）	4 月、6 月	180 分	基盤センター 自然系図書館	2	35 名

・ SciFinder のみベンダー派遣講師、他は情報リテラシー係職員が講師をつとめた。
・ 春期の初級編・中級編（自然科学系図書館）参加者が昨年の 124 名から 199 名へと増加した。日時設定に加え、会場スペース（PC 端末エリア）が整備され、スクリーンやマイクを使用して利用者に「見える形」で開催した効果が出ている。他方、春期と同様のメニューを秋期にも実施することを試みたが、海事キャンパス以外はそれほど多くの参加者を得られなかった。
・ 1 月のホームページ更新に際して、ガイダンスのページを目立つ位置に移し、各種ガイダンス資料を内容別に整理して示すなど、アクセシビリティの向上につとめた。

＜図書館ホームページの維持・更新＞

・ 月平均アクセスは約 56,600 件となっている（月別アクセス数は別添統計の通り）。
・ 業務システムリプレイスに合わせ、1 月よりホームページの改訂を行った。秋に実施した利用者アンケートでは、ホームページには大きな不満は出ていない一方、Web からの各種申込（パーソナルサービス）やガイダンスに関する認知度が低い点が明らかになったため、全体デザインを維持しながらトップページメニューの見直しや利用案内・ガイダンス情報・データベース情報等の改訂によりアクセシビリティ向上を目指した。
・ ガイダンスに際して作成した資料をホームページに順次アップしている。その他、各種情報のメンテナンス、新着事項の掲載等を引き続き行った。

図書館トップページ月平均アクセス数



◆評価と課題

必修科目「情報基礎」の情報リテラシー教育支援は 2 年目に入り、滞りなく実施できた。「情報の探し方」等のガイダンスへの積極的な参加者は限定されるので、必修科目の中で全員に説明できることは大きい。ただ、45 分という時間は図書館サービス全体を説明するには十分でなく、一方で新入生が実感を持てる内容は限られている。理学部化学科で 3 年次必修科目でのガイダンスを行っているが、大学生活全体の中でのあるべき姿を考えていくことが望ましい。

「情報の探し方」等のガイダンスについては、期間・運営方法・広報に試行錯誤で改善を重ね、参加者の増加が見られた。非常に熱心な受講者もあり、今後とも事業を継続していく意義がある。ただ、全学生数から見れば参加者はまだ少なく、広報等はさらに改善の必要がある。

図書館ホームページはサービスの認知度向上をめざして若干の改訂を行った。利用者アンケートではホームページに目立った不満は出ていないが、リンク集の整備、各館室情報の精粗、英語版ページの充実など、なお残る見直し課題がある。また、ホームページ上のみの情報告知には限界があり、メールマガジン等別途の広報手段も検討の余地がある。

（５）設備・機器の整備

総合・国際文化学図書館および自然科学系図書館の改装といった施設面の整備については 4(4)で記述することとし、本節では学習環境改善のための設備・機器にしぼった整備について記述する。

＜設備更新による学習環境の整備＞

・ 12 月から年度末にかけて部局長裁量経費等により各館室の整備を行ったが、特に学習支援に直接係わる事項として次のものがある。

総合･国際文化学図書館	開架書架の更新　閲覧机･椅子を増設　グループ学習室の設置
社会科学系図書館	閲覧机･椅子を増設　大閲覧室閲覧机の机上照明器具の更新
自然科学系図書館	1･2 階グループ学習室の設置　閲覧机･座席の増設
人間科学図書館	閲覧机･座席の増設
医学分館	閲覧机･座席の増設
保健科学図書室	閲覧机･座席の増設
海事科学分館	閲覧机･座席の増設

＜自動貸出装置等＞

・ 総合・国際文化学図書館に自動貸出装置を更新した（年度末）。

※利用者のセルフサービスを支援する機器類の導入状況は次の通りである。

自動貸出装置	研究所を除く各館
BDS (無断持出防止装置)	研究所を除く各館
24 時間入退館システム	自然科学系図書館、医学分館
セルフコピー (コイン式等)	各館導入済

＜情報機器の更新＞

・ 学術情報基盤センターのシステム更新（平成１８年１月）により、研究所を除く各館室に計５０台の一般利用端末が増設され、利用者環境が大幅に向上した。

※利用者用 PC 等の設置台数は次の通りである。

	総国	社会	自然	人文	人間	医学	保健	海事	研究所	合 計
PC 台数	46	53	42	14	19	15	12	20	3	224
制限なし(*1)	(25)	(15)	(20)	(10)	(10)	(8)	(7)	(5)	(0)	(100)
制限なし(*2)	(12)	(11)	(12)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(0)	(50)
一部サイト(*3)	(7)	(18)	(2)	(0)	(2)	(2)	(0)	(0)	(3)	(34)
OPAC 専用	(1)	(3)	(6)	(1)	(4)	(2)	(2)	(3)	(0)	(22)
スタンドアロン等	(1)	(6)	(2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(10)
利用者貸出用	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(8)	(0)	(8)
情報コンセント	3	21	12	4	5	26	2	20	0	93

＊ (*1)100 台は電子図書館システムのリース品

＊ (*2) 50 台は学術情報基盤センターのリース品

＊ (*3)は、OPAC に加えて限定された検索サイト（国会図書館等）がアクセス可能なもの

◆評価と課題

前年度に引き続いて、11 月と 2 月に部局長裁量経費を確保することができ、総合・国際文化学図書館および自然科学系図書館の学習環境整備は予想以上に進んだといえる。

自動貸出装置、BDS、セルフコピー機は、経済経営研究所図書館を除く図書館室への配備が完了しているが、自動貸出装置の初期導入分（平成 10 年度）の更新をどう進めるかが、今後も課題として残る。

利用者用端末のうち、スタンドアロン・OPAC 専用・一部制限付端末については、更新を進めており、総合・国際文化学図書館、社会科学系図書館、自然科学系図書館、医学分館において省電力化を図るためすべての端末のディスプレイ装置を液晶化した。

これにより、立位使用端末台はすべて液晶ディスプレイとなり、ブラウン管ディスプレイが落下する危険性は解消された。残り数台となっているブラウン管ディスプレイについて、機器の更新が課題である。

３．学術研究支援

（１）研究用資料の整備

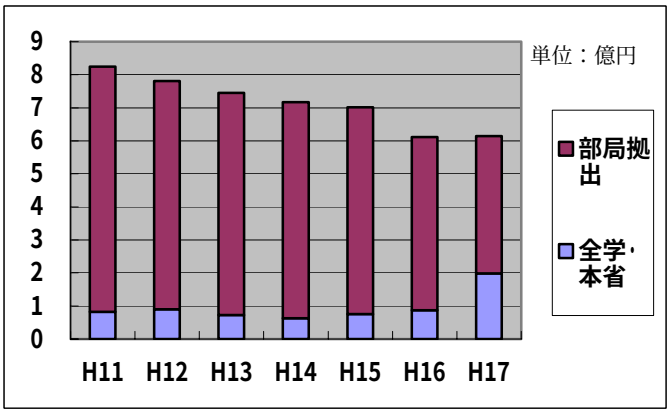
各館室の蔵書数、受入図書冊数、資料費等は別添統計の通りである。

＜資料受入状況＞

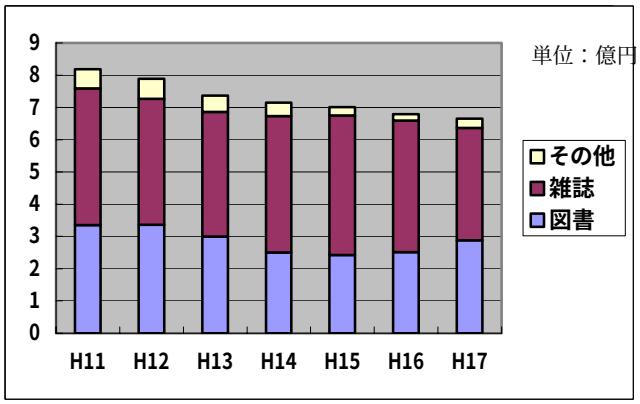
＊ 15 年度まで館室によって学習用・研究用を分けがたい場合が多いため、総計の経年推移を示す。

注）下記統計数値は、商船大、研究所など当時図書館組織外だった館の数値も合算した値

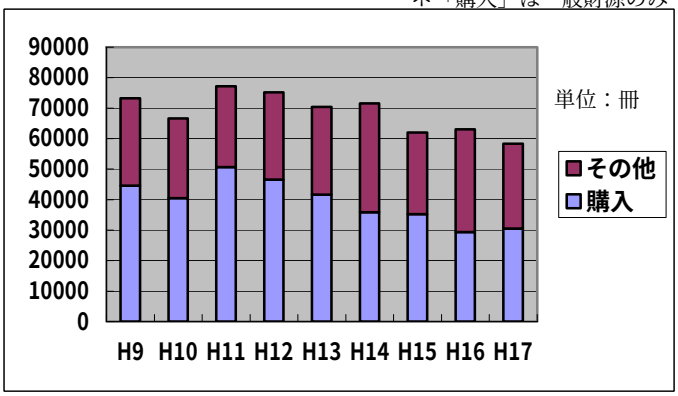
＜資料費経年推移＞ ＊一般財源に限る



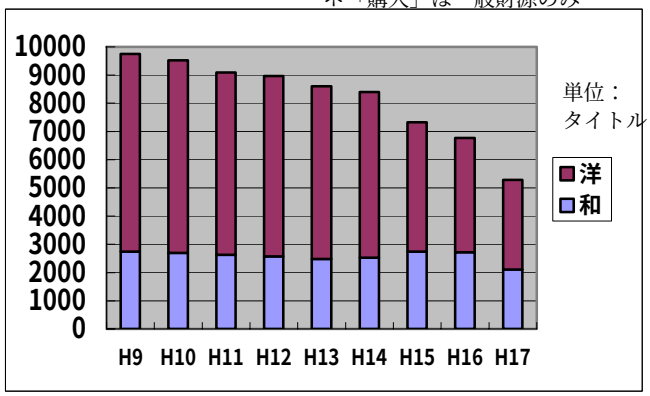
＜資料費の用途別内訳推移＞



＜受入図書冊数経年推移＞ ＊「購入」は一般財源のみ



＜購入雑誌数経年推移＞ ＊「購入」は一般財源のみ



- 部局予算の全体的な厳しさにより部局拠出の図書資料費（一般財源）は減少している。また用途別では、雑誌購入費は減少したが、図書購入費は増加し４年前の H14 年に並んだ。しかし購入冊数は昨年並みで、多くの館室で大幅に減少したままである。
- 数年来の傾向として、一般財源（校費）が減少した分、科学研究費・委任経理金等外部資金による購入の比重が高まっている。
- 一般財源による洋雑誌の購読雑誌数は激減し、H17 年は H12 年の半分以下に落ち込んでいる。

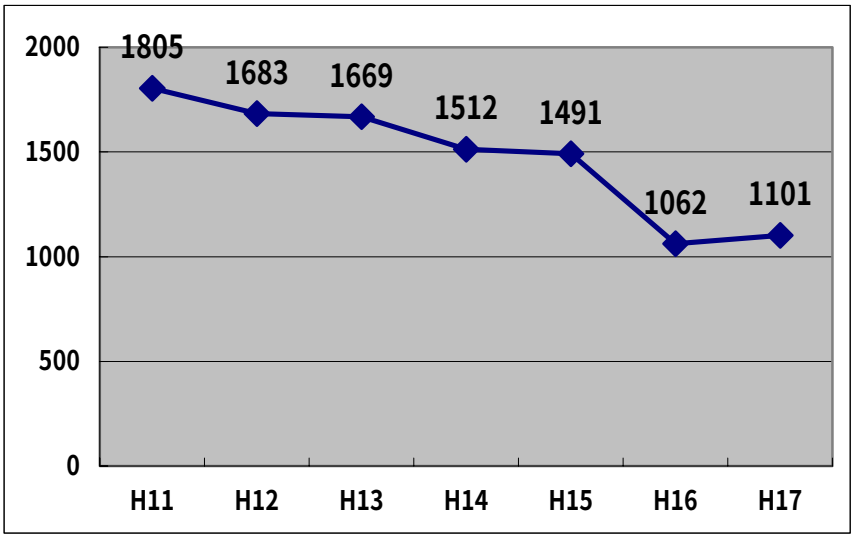
＜大型図書＞

- 文部科学省予算「大型コレクション」「特別図書」がなくなった現在、教員・講座単位では購入困難な高額図書を購入する途は事実上閉ざされた状態にある。 特に人文・社会科学系分野では大きな問題である。

＜外国雑誌センター＞

- 昭和 61 年度より、「人文・社会科学系外国雑誌センター」の指定を受け、国内に所蔵の少ない外国雑誌を体系的に収集し、全国共同利用に供している（配架は社会科学系図書館）。分野別の外国雑誌センターは全国で計 9 大学に設置され、人文・社会科学系は一橋大学と神戸大学の 2 大学に設置されている。
- 外国雑誌センター本来の趣旨に鑑み、所蔵希少雑誌として選定後、所蔵大学が 4 館以上となった雑誌を中止し、新規雑誌を追加して 17 年度予約点数は 1,101 となった。
- ILL 複写サービスについては、17 年度は一部作業を外注化するなどして、年間を通じ安定したサービスができる体制を整えることとした。これにより、他大学等からの複写依頼を常時受け付け、遅くとも受付翌日には発送する本来の外国雑誌センターとしてのサービス体制に戻すことができた。なお、昨年度大幅に低下した受付件数は、平成 15 年度の水準に回復している。

＜予約点数の推移＞



◆評価と課題

予算の減少はとりわけ図書購入に大きな打撃となっている。また外部資金へのシフトは、減少分を補填する意義はあるが、科学研究費等の購入図書は当該教員（または教員集団）の利用が原則となることから、社会科学系図書館を典型とする、関連分野の専門図書館に資料を集中し共同利用するという伝統に大きな影響を与えつつある。

大型図書が購入できる体制をとることも、中長期的な研究基盤整備として、いつまでも放置はできない重要な課題である。全学経費による大型図書の計画的収集を目指して、「高額教育研究基盤図書」を 19 年度からの教育研究基盤資料の維持・整備計画の一環として提案している。

外国雑誌センターについては、本来の目的を鑑みた購入タイトルの整理、ILL 文献複写サービスの体制作りなど、今後に向けての見直しを行った。

（２）電子的情報基盤の整備

＜外国雑誌と電子ジャーナル＞

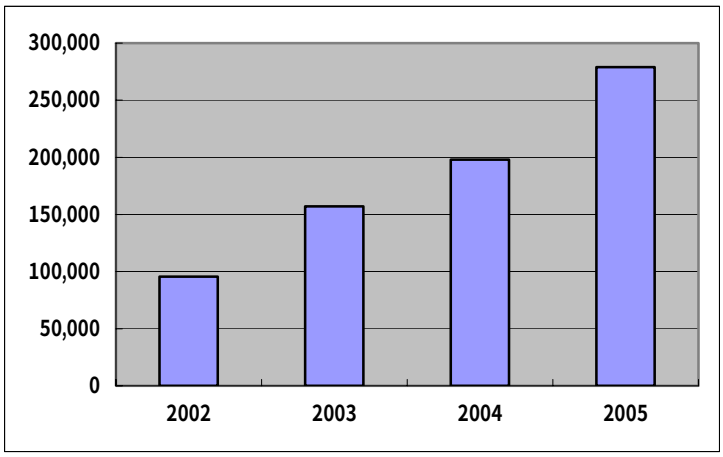
有料で導入している主な電子ジャーナルは次の通りである。

	分野	導入年	誌数	範囲	備考
Elsevier 社 ScienceDirect	全分野	H14	1,800	1995～ (非購読分は過去 4 年分)	コンソーシアム契約によるフリーダムコレクション 講読規模維持が条件 (現講読 467)
Springer 社 SpringerLINK	多分野	H14	435	1995 前後～	発行全タイトル 講読規模維持が条件 (現講読 49)
Wiley 社 InterScience	多分野	H14	412	1996 前後～	発行全タイトル 講読規模維持が条件 (現講読 90)
Blackwell 社 HSS Collection	人文社会科学	H14	339	1998 前後～	人文社会科学分野の発行全タイトル 講読規模維持が条件 (現講読 219)
JSTOR	自然科学及び社会科学	H14	522	創刊号～ (最近 3～5 年は対象外)	Arts & Sciences Ⅰ (H14～ 175 誌) Arts & Sciences ⅠⅠ (H17～ 188 誌) Arts & Sciences Ⅳ(H18.3～ 134 誌) General Science (H15～ 25 誌) Science 等が創刊号より利用可能
Nature 社	自然科学	H15	10	1987～	Nature 本誌以外は 1997～
AAAS Science Online	自然科学	H15	1	過去 5 年	
IEEE CSLSP-e	情報通信	H15	22	1988～	会議録約 1500 冊も利用可能
ACM Portal	情報通信	H15	31	ほぼ創刊号～	会議録等も利用可能
APS	物理系	H16	8	2001～	米国物理学会。 *H16 よりライセンス料要 (以前から利用可能)
Cell Press	生命科学	H16	7	1996～	Elsevier 傘下に (ScienceDirect)
LWW via Ovid	医学臨床	H16	100	1996～	
ACS	化学系	H16	35	過去 4 年	米国化学会

- ScienceDirect については、H17 にクロスアクセスからフリーダムコレクションに変更し、ScienceDirect で提供している別契約タイトル以外は全て利用できるようになった。
- その他、冊子体講読により利用できるものや SourceOECD（15 誌）、HighWire Press（冊子講読誌など 150 誌以上）、J-STAGE（約 200 誌）、NACSIS-ELS（機関別定額制対象の約 420 誌）等も加え、17 年度当初の電子ジャーナル導入数は 5,438 タイトルとなった。
- 電子ジャーナルの利用状況は別添統計の通りである。IEEE、ACM など一部に利用実績の伸びないものもあるが、総体としては非常によく利用されており、今や必須の教育研究基盤資料となっている。

＜Elsevier ScienceDirect
全文利用件数の推移＞

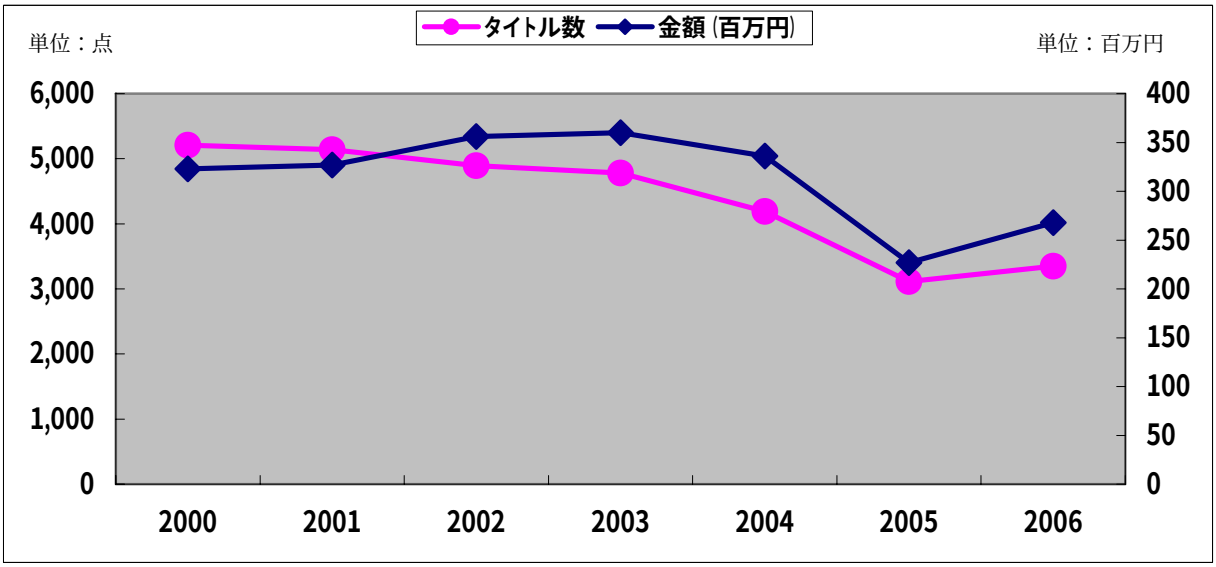
＊各年 1～12 月
＊海事科学部を除いた値
（旧商船大時代の数値不明のため）



・ 外国雑誌について 18 年分に対して、全体的な雑誌購読の回復を図るため、下記のいずれかの条件に当てはまるものに対して全学経費から、当該雑誌購読所要額の３０％を補填することとした。
  1) 冊子体を各図書館室に配置し、全学共同利用が可能なもの
  2) 購読水準維持が条件となっている大手４社（Elsevier 社 Wiley 社 Springer 社 Blackwell 社）発行のもの
・ この結果、2006 年外国雑誌（冊子体）の購読は、契約点数・契約金額とも回復傾向を示している。ただし、冊子体から電子ジャーナルのみへの変更も増えたため一昨年の水準までは回復していない。

2005 年契約点数	3,112 点	→	2006 年	3,348 点	（7.5%増）
2005 年契約金額	約 227 百万円	→	2006 年	約 268 百万円	（18%増）

＜外国雑誌購読推移＞



＜データベースの整備＞

主な導入データベースは次の通りである。

	分野等	導入	範囲	形態	備考
Web of Science SCIE	自然科学（引用索引）	H15	1996～	Web	H15.11 から導入
JCR Web	全分野	H17		Web	H17.4 から新規導入
MathSciNet	数学	H13	1940～	Web	
SciFinder Scholar	化学	H16	1907～	Web	H16.11 から新規導入
Readers Guide to Periodical Literature	一般雑誌	H6	1983～	ERL	図書館 ERL サーバで提供（利用申請要）
Business Periodicals Index	経営学	H3	1982～	ERL	同上
EconLit	経済学	H3	1969～	ERL	同上
Index to Legal Periodicals	法学	H3	1981～	ERL	同上
CiNii（旧名 NACSIS-IR）	多分野	H15	多種	Web	機関別定額制
聞蔵（朝日新聞）	新聞記事	H12	1984～	Web	同時アクセス 1
Global Books in Print	出版情報	H8	カレント	NT	図書館 NT サーバで提供（利用申請要）
SwetScan	全分野（雑誌記事）	H15	1995～	Web	学内サーバからの Web 検索提供
医学中央雑誌	医学	H5	1983～	Web	Web 版は H14 から医学･保健にサービス
JapanKnowledge	全分野（辞典等）	H17		Web	H17.6 から新規導入
文字鏡 Web	漢字データベース	H17		Web	H18.1 から新規導入

- 15 年度途中に導入した引用索引データベース Web of Science SCIE（自然科学系）は、引き続き間接経費で契約を維持した。
- 16 年 11 月より、化学分野の基本データベースである SciFinder Scholar を導入した。導入にあたっては関係部局の研究者にアンケート調査を行ったうえ、受益者負担を求めることとした。経費の問題から、「同時アクセス数 1」の契約となっている。
- 17 年度より、JCR Web と JapanKnowledge、文字鏡 Web を新たに導入した。
- 各データベースの利用は別添統計の通りである。データベースにより、利用度合は大きく異なっている。

◆評価と課題

電子ジャーナルは研究者（大学院生を含む）にとって不可欠な教育研究基盤資料となっている。18 年度は全学経費から、当該雑誌購読所要額の３０％を補填すること等により大手出版社電子ジャーナルのコンソーシアム契約を維持できることとなった。19 年度からは、3 億円を上限とする教育研究基盤資料整備費（仮称）を新設することにより、電子ジャーナル・データベースを中心とした学術情報基盤資料の整備を図ることが図書館審議会から答申された。

（3）蔵書目録データベースの整備

＜目録遡及入力事業＞

- 平成 4 年度から「図書館インテリジェント化推進事業」として学内予算措置で事業を開始したもので、第 1 次（平成 4～8)、第２次（平成 9～13）を経て、第 3 次 5 カ年計画（平成 14～）の途上にある。
- １６年度に引き続き、国立情報学研究所共同遡及入力事業（全国的見地から有意義な入力事業を公募し、国立情報学研究所経費で実施するもの）に参加し、経済経営研究所図書館の洋図書を入力。
- 図書館の当初予算が厳しかったため年度当初から実施はできなかったが、40,000 冊入力（国立情報学研究所共同分を含む）を目指して、主として年度前半に外注及び職員による入力作業を行った。例年より規模は小さくなったが、目標を上回る入力が達成できた。17 年度実績を加えると、平成 4 年度からの遡及入力総計は 104 万冊を超えたことになる。

  17 年度計画目標　40,000 冊　→　実績　41,150 冊

  総合図書館（外部委託）　10,000 冊（和書）　→　実績 11,944 冊

  人文科学図書館（外部委託）　8,000 冊（洋書）　→　実績　6,879 冊

  経済経営研究所（国立情報学研究所経費）

  15,000 冊（和洋）　→　実績 15,015 冊

  各館館員入力　7,000 冊（和洋）　→　実績　7,312 冊

  （参考：　16 年度は 31,701 冊を入力）
- 館室配置図書に限ると、未入力冊数は約 37 万冊である。総合・国際、社会科学系、研究所の 3 館が各 9～10 万冊の未入力を書庫内に残している。
- 17 年度末において、製本雑誌を除く全蔵書に対する入力率は約 71%である。

各館室別の OPAC 収録状況は次の通りである。

総合･国際文化学	**開架室図書及び書庫内洋書はほぼ完了。書庫内和書は継続入力中**
社会科学系	**洋書はほぼ入力完了。和書は 1945 年以降ほぼ完了、それ以前は継続入力中**
自然科学系	**ほぼ全図書を入力完了**
人文科学	**和書はほぼ入力完了。洋書は 1980 年以降ほぼ完了、それ以前は継続入力中**
人間科学	**ほぼ全図書を入力完了**
医学分館	**ほぼ全図書を入力完了**
保健科学	**ほぼ全図書を入力完了**
海事科学分館	**ほぼ全図書を入力完了**
経済経営研究所	**1989 年以降の図書、及び中南米文庫等は完了。他は順次入力予定**

◆評価と課題

目録遡及入力はこれまでと比べて規模を縮小したが、当初予定数は達成できた。館室配架図書については第 3 次 5 カ年計画が順調に進めば終わりが見えるところであったが、遡及入力事業縮小に伴いもう少し延長したスパンで考えざるを得ない。特に、総合・国際文化学図書館、経済経営研究所図書館は未入力の割合が高く、今後重点的に進める必要がある。

（４）資料の保存

＜貴重資料の保存＞

・ 古典籍の保存状態を改善するため、社会科学系図書館が所蔵する住田文庫を中心とした和装本 179 冊、総合図書館・国際文化学図書館が所蔵する郷土資料のうち和装本 119 冊を保存用の帙に収納した。社会科学系図書館所蔵の村上文書等の保存のため桐箱 150 箱に収納したほか、中性紙封筒に古文書を収めた。

＜一般資料の保存＞

・ 附属図書館事務改善プロジェクトの１つとして「資料の収集・保存等検討 WG」（主査：管理課補佐）を設置し、本年度は主として、資料の保存について検討を進めた。
ＷＧにおいて「神戸大学附属図書館資料保存基準（案）」を策定して、附属図書館運営委員会に諮り、検討を行ったが一律の基準の適用に対して異論が出され、再検討することになった。

・ これを受けて、各館室において詳細な資料収容力の調査と収容力確保策の検討を行った。
次年度以降は、この結果に基づき、各館室の図書委員会において方策の検討をさらに進めることとした。

	施設面積（㎡） A	蔵書数（冊） B	館内配置数（冊） C	標準収容力 一棚 25 冊換算（冊） D	㎡あたり冊数 C/A	蔵書数／収容力 B/D	配置数／収容力 C/D
総合･国際	3,396	464,044	384,000	285,611	113.1	1.62	1.34
社会系	10,707	1,208,552	977,000	1,424,000	91.2	0.85	0.69
自然系	3,287	448,924	287,424	296,777	87.4	1.51	0.97
人文	1,198	263,162	233,000	228,139	194.5	1.15	1.02
人間	1,457	302,580	182,000	181,250	124.9	1.67	1.00
研究所	1,164	262,876	178,000	189,527	152.9	1.39	0.94
医学	1,612	128,141	121,400	156,000	75.3	0.82	0.78
保健	848	50,642	44,694	42,694	52.7	1.19	1.05
海事	2,170	243,985	217,000	201,611	100.0	1.21	1.08
計	25,839	3,372,906	2,624,518	3,005,609	101.6	1.12	0.87

◆評価と課題

古典籍の保存については一定の進捗が見られたが、昨年から引き続き課題であったマイクロ資料の補修・複製については進めることができなかった。次年度以降、古典籍の保存環境改善を更に進めるとともに、マイクロ資料の保全についても引き続き努力する必要がある。

昨年度増築された社会科学系図書館を除き、どの館室も収容力はほぼ限界に達していることが調査により明らかになっている。重複資料・不用資料を計画的に処分し、スペースの有効利用を図ることが喫緊の課題である。そのため「資料保存基準」の検討を行ったが、実際の廃棄を進めるに当たっては相応の予算が必要とされるため、予算の確保が課題である。

（５）その他の研究支援サービス

＜相互利用＞

前年度との比較は次のとおりである。

＜１６年度との比較＞

区分			総･国	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
複写	受付	H17/H16	1.46	1.66	0.61	1.14	0.79	0.95	0.89	1.24	1.05	1.03
		H16 年度	204	3,551	4,105	797	1,048	447	3,692	317	483	14,644
		H17 年度	297	5,885	2,499	912	824	423	3,282	392	507	15,021
	依頼	H17/H16	0.89	1.07	0.88	1.27	1.12	8.33	0.79	0.78	0.86	0.92
		H16 年度	797	832	1,991	702	2,218	3	3,650	2,061	206	12,460
		H17 年度	708	889	1,748	892	2,488	25	2,871	1,615	177	11,413
貸借	受付	H17/H16	0.91	1.68	1.32	1.24	1.33	0.84	0.76	1.13	0.70	1.36
		H16 年度	341	976	114	363	115	32	34	16	105	2,096
		H17 年度	310	1,637	151	451	153	27	26	18	73	2,846
	依頼	H17/H16	0.82	0.83	1.47	1.43	1.25	0.62	1.29	1.45	0.67	1.07
		H16 年度	381	627	104	426	300	13	7	22	9	1,889
		H17 年度	313	522	153	609	375	8	9	32	6	2,027

- 社会科学系図書館において複写・貸借の受付件数の伸びが著しいが、これは 16 年度の増築移転で長期に休館したためであり、15 年度（6,127 件）よりも減となっているので、むしろいずれも減少傾向にある。
- 複写に関しては依頼・受付ともに、自然科学系図書館、医学分館で大きく件数が減少しており、全国的に、電子ジャーナル化の影響がより顕著になってきたと考えられる。
- その一方で、貸借の受付は全体的に増えている。特に社会科学系図書館では、15 年度（1,478 件）と比べても約１割の増となっている。

◆評価と課題

- 複写の減少傾向はより一層明確になってきているが、それでもまだ受付、依頼ともに 1 万件を超えており、他大学との協力関係なしに利用者の要求に充分応えられない状況に変わりはない。17 年度、安定的サービスのため社会科学系図書館で業務の一部を外注化したが、これについては 18 年度も継続する。
- 海外との ILL については、貸借も始まった。学内への周知が課題である。

４．社会連携・情報発信

（１）一般市民への資料提供サービス

＜一般市民の図書館利用＞

・ 附属図書館利用細則を改定し、総合・国際文化学図書館と海事分館において一般市民への貸出を正式に開始した。
・ 総合・国際文化学図書館では、16 年度に半年間の試行期間をおいたが、17 年度もほぼ同じペースで貸出利用があった。海事分館では、総合を上回る利用があった。これは、図書館の地理的な状況が影響していると考えられる。

	総合･国際	海事分館
H16 年度	124	
H17 年度	269	409

＜展示会「近代神戸の足跡」開催＞

・16 年度の震災文庫展示会に引き続き、「六甲祭」の時期に合わせて「近代神戸の足跡：神戸大学附属図書館資料から」を開催した。

日程　　：１１月７日（月）～１３日（日）　７日間
会場　　：社会科学系図書館プレゼンテーションホール
展示内容：・「開港と居留地」「地図で見る近代史」「神戸港の発展と海運」「多様な産業の盛衰」の４コーナーに資料 88 点（文書、地図、図書等）
・コーナーに関係する「新聞記事文庫」中の記事
・その他の資料及び各種説明のパネル展示
・電子展示（デジタル版新聞記事文庫）

・7 日間で 750 名（うち学内者約 550 名）の来場者があった。近隣の住民や学校生徒を含む一般市民の来場が多く、来場者アンケートへの反応等も概ね好意的であった。
・特定のコレクションではなく、各館室から関係資料を幅広く集めて展示品を構成した点が特徴のひとつであり、好評な点でもあった。
・終了後、図書館ホームページ上で電子展示も開催している。

＜公共図書館との協力＞

・ 前年に引き続き、兵庫県大学図書館協議会で加盟館の一般市民への公開状況をまとめ、協議会ホームページでの情報公開及び兵庫県図書館協会への情報提供を行った。

◆評価と課題

・ 一般市民への資料提供サービスの開始は、地域に開かれた大学の活動の一つとして評価できると考えている。
・ 特に積極的な宣伝をしているわけではないが、コンスタントに学外の利用者の来館があり、地域社会に徐々に浸透しつつある。
・ 16 年度の震災文庫展示会のようなマスコミ報道はなかったが、多くの多様な参加者が来場し、概ね好

評であった。図書館にとっても所蔵資料の利活用とともに位置づけを再認識し職員のスキルアップにもなるよい機会である。今後は、学内で行われている教育・研究活動とも連携していくことが課題である。

（２）震災文庫

＜資料収集と一般公開＞

・ 引き続き、様々なチャンネルから情報収集を行い、寄贈依頼等、積極的な収集活動により関連資料の網羅的収集に努めた。今年は震災十周年目にあたり、各機関によるこれまでの報告書等の資料が前年よりは増え、収集は 1,502 点（16 年度は 1,218 点）資料所蔵総数も４万件を超えた。

	全点数 (タイトル数)	H17 新着		全点数 (タイトル数)	H17 新着
図書資料	5,745(5,113)	220(157)	写真資料	84(82)	1(1)
雑誌資料	11,592(2,950)	337(56)	地図資料	132(126)	0(0)
新聞･広報誌資料	12,143(2,130)	395(148)	映像資料	232(189)	36(22)
パンフレット資料	5,014(4,969)	332(326)	音声資料	73(65)	2(2)
一枚もの資料	5,569(5,569)	177(177)	コンピュータ資料	71(71)	2(2)
			総合計	40,655(21,264)	1,502(891)

注）雑誌等の各号を1冊ずつ数えた数が「点」（件）、同一タイトルを1と数えたのが「タイトル」。
写真資料はコレクション単位（概ね撮影者単位）を1としているため、点数が少ない
（約2万枚のコレクションなどもある。）

・16 度末に社会科学系図書館２階から隣接のフロンティア館に独立したスペースとして震災文庫室が移転し、資料収容スペースが確保できたため、今年度は利用者の閲覧環境のみならず事務用環境に於いても改善を行った。

利用者用パソコン機能アップ(Photoshop 追加)、利用者用プリンター設置、
視聴覚コーナーの充実としてモニター、ヘッドホーンの入れ替え、
DVD・ビデオプレーヤー増設
事務用ノートパソコン設置

・震災後１０年を契機として、視聴覚資料についてメディアの劣化調査及び保存対策を実施するとともに、利用者にとってより良い閲覧環境を提供するため、視聴覚コーナー諸設備の整備及び改善を行った。

＜震災デジタルアーカイブ＞

・ 資料全体のタイトル等だけでなく、掲載されている記事情報等からも検索できるよう、詳細なメタデータを継続的に作成している。本年度も約 1 万 4 千件を入力し、その結果、メタデータデータベースのレコード総数は 23 万件に達しようとしている。
・ 震災関係図書資料の全文デジタル化に力を入れて５年目の本年度は、著作権許諾の得られた 14 冊（約 1,700 ページ）をデジタル化し公開した。デジタル公開済の冊子体資料（パンフレット・広報誌等を含む）は約 52,000 ページにのぼっている。

・　その他、チラシ等一枚もの資料のデジタル化も引き続き行い、累計では 2,943 枚となる。
・　今年度も、各機関で震災等に備える目的の防災資料作成のため写真を中心に一次資料の問い合わせが多数あり、著作権者への許諾依頼も増加している。
・　11～16 年度の間デジタル化経費等の補助を受けてきたが､17 年度は図書館経費によることとなった。

◆評価と課題

震災デジタルアーカイブは特色ある電子図書館事業として多大な評価を得ており、昨年度の展示会が好評だったこともあり一般の利用者に加え学内利用者も増えている。

震災資料については今後も購入費に加えて、積極的に収集を行うための人手と多様な資料の保存に要する消耗品等が不可欠であり、安定的な予算確保が課題である。

また、震災文庫が新館の独立したスペースに移転した事で震災文庫室で利用者との対応時間が増え、そのため資料の整理等の時間が減少している、震災文庫室内において整理作業等を可能にするための環境改善や、作業時の発生音等の問題もあり滞積してる未整理資料については今後の課題である。

震災文庫室の危機管理対策においては、設備を充実させるなどの対応を行った。

震災１０周年に関連し、各機関で震災をテーマにした資料作成のため震災資料の一次資料利用許諾等の問い合わせが増えた。そのため著作権者への許諾仲介の連絡も増え、また葉書、ファックス、メールと連絡方法も多岐にわたり煩雑である。また団体・組織の再編、解散によって年々連絡が取り辛くなっているのが現状である。

（３）電子図書館システムによる情報発信

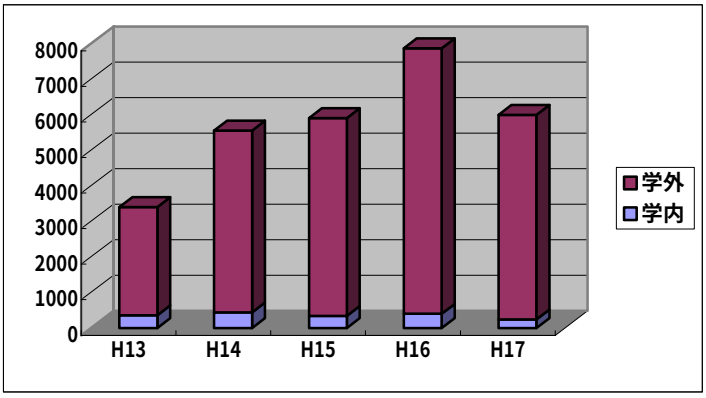
コンテンツのうち震災関係資料については、前節で述べた。

＜「神戸大学電子図書館システム」によるデジタルアーカイブ構築＞

・同システムは平成 10 年度補正予算で予算措置され、11 年から稼働している。全国 5 大学に「先導的電子図書館システム」として継続的に予算措置されたものである。
・「震災関係資料」、「経済関係資料」、「学内教育・研究成果」を３本柱に事業を推進し、デジタル化した資料は、制限をつけず広く WWW で公開してきた。経費には上記の電子図書館経費と、科学研究費研究成果公開促進費（H11～15 震災デジタルアーカイブに措置）を充ててきた。
・　システムは 15 年 2 月に更新（20 年 1 月まで）しており、目立った障害は無く安定稼働している。

＜震災文庫トップページ月平均アクセス数推移＞

単位：件

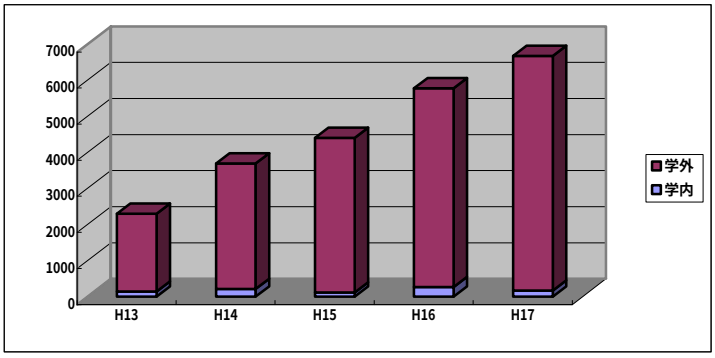


＜経済関係資料デジタル化＞

・新聞記事文庫（戦前期記事切抜）デジタル化については、昨年に続き科学研究費研究成果公開促進費（「戦前期新聞記事文庫データベース」）を獲得した（補助費 1,510 万円）。「労働」「貨幣および金融」分野を中心に約 45,000 コマを全文テキスト化した（累積約 208,000 コマ）。

＜新聞記事文庫トップページ月平均アクセス数推移＞

単位：件



・ 渋谷文庫（旧海軍技術資料）は、海事科学部において科学研究費によってデジタル化が行われた。「臨機調事件」の資料を中心に 36 点（画像数 982 枚）の提供を受け公開した。
・ 今年度の展示会「近代神戸の足跡」で好評だった神戸関係の地図・史料など 20 点をデジタル化し、神戸関係の史料及び地図等のデジタルアーカイブとして、新たなインターフェース「FreeZoom Pack」を採用して細部まで精細に閲覧できるようにし公開した。

＜学内教育・研究成果資料デジタル化＞

・ 解剖学教科書（協力：医学部・寺島研究室　12 年度～）について、「人体解剖学自己学習問題集」、「生命倫理・医療倫理(BMS 修士課程)ノート」、「局所解剖学ノート」を新たに公開した。
・ 「機関リポジトリ構想」について附属図書館審議会で審議され、全学的に推進する方向で答申された。またこれと並行する形で、教育研究活性化支援経費の補助をいただき、研究開発室学内研究成果電子化部会の協力を得て、機関リポジトリを実施するにあたっての技術的・実務的な面の基礎調査を実施した。調査内容としては文献調査のほか、先行大学の実施調査、テストサーバーによるシステムの機能評価、また本学教員へのアンケート(回答 201 名)を実施した。
・ 引き続き学内研究成果メタデータ（書誌情報）として、紀要類記事情報（3,284 件入力、累積約 29,300 件）、科学研究費成果報告情報（130 件入力、累積約 1,630 件）、博士学位論文情報（324 件入力、3,850 件）の入力を進めた。

◆評価と課題

震災資料の電子化については、許諾が得られている資料の電子化は１７年度でほぼ完了することとなった。今後は、新たに受け入れる資料のなかで、電子化許諾が得られるものの電子化が主体となる。

新聞記事はその規模と希少性（戦前の記事切抜きはほとんど残っていない）から高い評価を得ており、主に外部からの利用が多数を占める。今年度も、科学研究費研究成果公開促進費の獲得により計画どおりに進めることができた。

学内研究成果については、次年度以降は、機関リポジトリ事業の展開が主な事業となる。

５．管理運営等

（１）図書館組織と運営

＜管理運営全般＞

平成 17 年３月末任期満了により佐々木武館長（理学部教授）が退任し、４月より須藤健一新館長（国際文化学部教授）が就任した。

法人化前の附属図書館長の選考は、学長の諮問に基づき部局長から構成される候補者推薦委員会が候補者を推薦し、学長が評議会の承認を得て候補者を決定（「附属図書館長選考規程」）していたが、法人化時に附属図書館長選考規程が廃止され、学術情報基盤センター長，留学生センター長，保健管理センター所長，連携創造本部副本部長及び大学教育推進機構全学共通教育部長の選考とともに部局長会議の審議事項となった。選考方法の変更後最初の館長交替であったが、従来どおり部局長経験者が選考された。館長の交替に伴い、副館長３名が交替した。

４月当初に館長・副館長・分館長懇談会が開催され、図書館の課題全般の確認と新たな役割分担が決められた。

三上副館長（発達科学部教授）	評価担当　震災記念事業委員会
足立副館長（経済学研究科教授）	社会科学系図書館担当　情報公開・個人情報保護委員会 広報委員会
青木副館長（農学部教授）	自然科学系図書館担当　国際交流委員会

＜館内諸会議＞

① 附属図書館運営委員会

・ 平成 17 年度は４回開催した。開催日時、議事内容は、巻末添付資料に掲載。

② 附属図書館長・副館長・分館長懇談会

・ 平成 17 年度は、年度始めの館長･副館長懇談会を含めて３回開催した。開催日時、議事内容は、巻末添付資料に掲載。

③ 附属図書館評価委員会

・ 平成 17 年度は２回開催した。開催日時、議事内容は、巻末添付資料に掲載。

④ 附属図書館研究開発室会議

・ 平成 17 年度は３回開催した。開催日時、室員名簿、議事内容は、巻末添付資料に掲載。

⑤ 全学図書系係長会議

・ 平成 17 年度は 4 回開催した。附属図書館事務部部課長、補佐、係長及び経済経営研究所図書係長がメンバーで、全学図書館業務に係る実務的な会議である。
・ 開催日時、議題等一覧は、巻末添付資料に掲載。

＜図書館審議会の開催＞

学長から本学の教育研究支援強化のための諸施策を具体化するために

１．教育研究基盤資料の維持・整備方策　２．神戸大学機関リポジトリ構想

について諮問があった。図書館審議会では具体的な検討するための特別委員会を設置。第 2 回附属図書館審議会（H.18.1.18 開催）で特別委員会「中間報告」の概要説明。第 6 回特別委員会（H18.3.6 開催）で審議会「答申」（案）の検討。第 3 回附属図書館審議会（H.18 .3.9 開催）の審議会答申（案）について審議、了承され、学長に答申した。

・図書館審議会答申「教育研究基盤資料の維持・整備方策」の内容：
教育研究の基盤となる学術資料を安定的に維持・整備することは、重要な課題である。目下の財政逼迫下において、なお値上がりの続く学術資料を、如何にして持続可能な形で安定的に維持・整備していくかについて、現中期計画期間（平成 21 年度まで）における中期的な諸施策を提案した。

・図書館審議会答申「教育研究基盤資料の維持・整備方策」の内容：
神戸大学が国際的な教育研究の拠点大学としての地位を確立し発展していくためには、学内で生産された研究成果を世界に向けてより広く公開していくことが必要である。学術研究機関が情報発信を行うための国際的に標準化されたシステムである機関リポジトリを本学に設置することを提案した。

・答申全文は「教育研究支援強化のための諸施策の具体化について（答申）」を参照。
○ 審議会開催日時、議題等一覧は、巻末添付資料に掲載。
○ 特別委員会委員名簿、開催日時、議題等一覧は、巻末添付資料に掲載。

◆評価と課題

図書館に関する基本問題を審議する図書館審議会を開催して、学長からの諮問「教育研究支援強化のための諸施策の具体化について」について検討し、答申案をまとめ、学長に答申した。

なお、平成 18 年度の運営委員会において、「教育研究基盤資料の維持・整備方策」に関連しては、高額図書の定義・選定方法等の検討、電子ジャーナル・データベースの確認・選定等について、そして「神戸大学機関リポジトリの構築」に関連しては、教員へのコンテンツ登録依頼などの答申にもりこまれた方策の具体化について、審議する予定である。

（２） 事務組織と人事管理

＜図書館事務組織＞

・平成 17 年５月現在、附属図書館事務部は２課 19 係、定員 51 名、非常勤職員 40 名、経済経営研究所図書係、定員 4 名、非常勤職員２名の 97 名となっている。
・平成 17 年５月現在、職員の配置状況は、以下のとおりである。

地区	館室	配置係数等	定員職員	非常勤職員	計
六甲地区	総合･国際文化学図書館	サービス課長 2係	5	4	9
	社会科学系図書館	部長 管理課長･補佐 7係	20	19	39
	自然科学系図書館	サービス課補佐 3係	8	5	13
	人文科学図書館	1係	3	2	5
	人間科学図書館	1係	3	2	5
	経済経営研究所図書館	1係	4	2	6
楠地区	医学分館	管理課補佐 2係	6	3	9
名谷地区	保健科学図書室	1係	1	2	3
深江地区	海事科学分館	管理課補佐 2係	5	3	8
			55	42	97

・ 現在、社会科学系図書館が事実上の中央館として機能しており、企画係・管理係が全館の総務機能を、図書受入係・雑誌情報係・図書目録係は、当該業務に係る全館調整機能と社会科学系及び総合・国際文化学図書館の整理業務を担当している。
・ 情報サービス課の情報リテラシー係（総合・国際文化学図書館配置）、電子図書館係（社会科学系図書館配置）、情報システム係（自然科学系図書館配置）は、当該業務の全館調整機能を果たしている。
・ 情報管理係は、自然科学系･医学分館･海事科学分館に配置し、各館の総務機能と整理部門を担当し、各館室に配置する情報サービス係は、主に各館室のサービス業務を担当している。

＜職員の採用と育成＞

・ 平成 17/18 年度、図書系職員１名の退職（教職への転身）があり、新規に１名を採用した。
・ 平成 16 年度に引き続き「図書系職員初任者等研修」を 3 日間の日程で実施した。

日程	4月25～27 日（いずれも終日）
受講者	全行程参加 5 名（主に H16.10 以降の採用者） 一部参加 2 名（事務系転入者）
講師	図書館部課長、担当係長（一部、係員を含む）
内容	大学図書館の基本問題 神戸大学及び附属図書館の概要 人事制度･会計制度の概要 図書館各業務の概要 コンピュータの使用とセキュリティ、情報検索（含実習） 図書館見学（保健科学図書室を除く各館室）

・ 平成 16 年度から引き続いて、事務系職員の「身上調書」とは別に図書系職員の「意向調書」を実施し、職員のキャリア形成に係わる目標や希望をより正確に聴取し、研修計画等に反映した。

・ 国立情報学研究所の主催する各種研修、大学図書館職員長期研修、主題専門知識の研修等に職員を派遣し、スキルアップに努めた。今年度参加の主な研修は次のとおりである。

区分	研修名	主催	日程	参加者
若手職員向けの基礎研修	大学図書館職員講習会	国立情報学研究所、京都大学	10/11～14	係員 1
	図書館等職員著作権実務講習会	文化庁	10/12～14	係員 1
中堅（係長クラス）向けの研修	大学図書館職員長期研修	筑波大学、文部科学省	7/4～15	係長 1
	国立大学図書館協会シンポジウム（西地区）	国立大学図書館協会	11/16～17	係長 1
個別業務の専門的知識のための研修	目録システム地域講習会	国立情報学研究所、神戸大学、関西学院大学	6/8～10、9/7～9/9	係員 2 非常勤 3
	資料電子化研修	国立情報学研究所	9/15～16	係長 1
	NAIST 電子図書館学講座	奈良先端科学技術大学院大学	11/30～12/1	係員 1
	情報システム統一研修（情報リテラシーB CD-ROM 研修）	国立情報学研究所	7/20～9/30	係員 1
	学術情報リテラシー教育担当者研修	国立情報学研究所	11/16～18	係員 2
	医学図書館研究会・継続教育コース	日本医学図書館協会	11/14～16	係員 1
	漢籍担当職員講習会（中級）	京都大学、文部科学省	11/7～11	係員 1
	漢籍整理長期研修	東京大学東洋文化研究所	6/20 ～ 9/9（6/27～9/2 自習）	係員 1
	西洋社会科学古典資料講習会	一橋大学社会科学古典資料センター	11/8～11	係員 1
	科学技術資料研修	国立国会図書館	11/17～18	係員 1
	職員自己啓発研修（接遇マナー及び放送大学科目等履修生として「カウンセリング」等を自学）	神戸大学	------	サービス課全職員、係員 2
1 日以内の講演会・研修会等	各種講演会等 「資料・情報を読者へ－書店から学ぶこと」 「図書館を巡る法制度－著作権の動向と個人情報保護法－」 「アーカイブ（文書・記録資料）の整理について」 ほか	兵庫県大学図書館協議会、近畿地区国公立大学図書館協議会、京都大学、ほか（主に近畿地区で開催されるもの）	各半日～1 日	管理職を含め延べ 52

・ いわゆる他大学等への研修出張は、調査内容が現状の業務改善等に直結するものに限定した。平成 17 年度の他大学への調査出張は以下の 2 件である。

調査目的	調査先	出張者
電子ジャーナル管理システムの現状調査について	九州大学	係員 2
電子的 DDS の運用及び海外との ILL の状況について	東京工業大学	係員 2

・ 図書館専門業務以外の大学職員としての一般的な学内研修（OA 研修、管理職研修等）も、可能な限り派遣したが、図書系職員として重要な語学研修として以下のものが上げられる。

区分	研修名	主催	日程	参加者
語学研修	事務系職員語学（英語・中級）研修	神戸大学	10/5～2/1	係員 2

◆評価と課題

新任・転任の職員を対象に「初任者等研修」（3 日間）を館内で実施。
学外の各種図書館関連研修、情報関連研修、専門主題（漢籍・古典籍・医学等）に関わる研修に派遣して自発的能力向上のための機会を増やした。

＜業務の改善と効率化・合理化＞

① 業務の標準化・合理化

・ 本学の附属図書館は、平成４年度に旧神戸大学の６図書館室が一元化され、その後も医療短期大学部図書室、神戸商船大学附属図書館、経済経営研究所図書室が編入された組織であり、業務の面においても各図書館室には独自の処理や手順が残っている。このため、業務の効率化・合理化を進めるには、まず業務の標準化が重要となっている。
附属図書館事務部の附属図書館事務改善プロジェクトに、事務改善 WG を設置し、各館業務の手順・内容を分析し、標準化を検討。年度後半の全学業務改善プロジェクト参加に伴い、全学的な立場から再度標準化や業務改善を検討中。
・ 合理化の面では、利用者サービス部門の自動化推進のため、以下の整備を行った。
○ 自動貸出装置　総合図書館に増設
○ セルフサービス複写機の増設　医学分館に予定（平成 18 年度）

② アウトソーシング

これまで清掃・警備等の一般的業務のほか、雑誌製本業務、一部館室の時間外開館業務、目録遡及入力、電子化コンテンツの作成を外部委託してきた。平成 17 年度は、以下に記す業務について、実施を開始した。

・ 2006 年外国雑誌の業者選定に際して、前年度から引き続いて納品時の仕様を「チェックイン」方式とした。これにより、雑誌受付処理の自動化（納品分一括処理）実施の条件を整備するとともに、煩瑣な欠号請求業務をアウトソーシングした。
・ 整理部門業務の軽減方策として、業者による装備作業済・目録データ添付図書の購入を拡大し前年度に引き続いて実施した。
・ 平成 17 年度から複写作業の外部委託を外国雑誌センターである社会科学系図書館で実施した。
・ 平成 18 年度から雑誌製本業務の準備作業及び装備作業等をアウトソーシングすることにより、雑誌製本業務の完全アウトソーシングを実施の予定。

③ 業務改善の検討

・ 「神戸大学業務改善プロジェクト」設置。同プロジェクトは業務改善を行うため、コンサルティング・ファームを活用し、学内プロジェクトチームとの協同プロジェクトチームにより事務職員の現在従事する業務時間の 3 割を削減することにより①学生、教員へのサポート業務の質的向上②職員の活力向上③短期的には、時間外勤務の削減、中長期的には新規採用数の抑制を通じて、国立大学法人として求められる財務体質の強化（人件費の削減）を計ることを目的としている。
10 月 1 日に学内プロジェクトチームが立ち上がった。（兼任職員　事務局各部及び図書館各 1 名）図書館からは係長 2 名を兼任職員として、作業が円滑に推進のため図書館窓口としての体制をとった。12 月から 1 月にかけて事務業務の現状調査・分析をして課題を抽出する目的として現行業務フローの作成、業務量調査の実施、現行システム調査および現行業務の分析を行った。その結果、コンサルティングから「課題を解決のための対応策」の定義および、「あるべき姿」が提示された。

内容：
１．雑誌製本業務のアウトソーシング対象範囲の拡大（H.19.4 までに実施）
２．取引業者の絞込み及び、図書館業務システムとのデータ連携（H.20.4 までに実施）
３．書店発注システムの活用（H.20.4 までに実施）
４．図書予算の大括り化（H.21.4 までに実施）
５．予算確認・調整業務の廃止（H.21.4 までに実施）
６．目録登録業務（一部）のアウトソーシング（実施時期未定）

今後のスケジュール
平成 18 年 4 月 26 日：コンサルティングから最終報告（案）提出
平成 18 年 5 月～6 月：答申のための改善案及び 19 年 4 月の組織原案検討
平成.18 年７月：学長答申

（３）予算及び財務会計業務

＜平成 17 年度附属図書館予算・決算＞

① 経常運営費

・平成 17 年度当初予算 197,070 千円　決算額 192,574 千円であった。
・平成 16 年度の当初予算 206,370 千円、決算 205,461 千円に比較して、当初予算、決算額とも大幅に節減した。（当初予算額 H16 予算比 △9,300 千円 4.5%減、H16 決算比 △12,887 千円 6.3%減）（決算額 192,574 千円）

② 経常事業費

・平成 17 年度当初予算 227,279 千円　決算額 232,200 千円であった。
・平成 16 年度の当初予算 207,910 千円、決算 208,550 千円に比較して、当初予算、決算額とも大幅な増額となった。（当初予算額 H16 予算比 19,369 千円 9.3%増、H16 決算比 23,650 千円 11.3%増）
（決算額 232,200 千円）
・平成 17 年度は、新規予算として学生用資料費の増額が認められた。（41,000 千円→61,000 千円）

③ 平成 17 年度臨時的経費

・ 大手電子ジャーナル（Elsevier,Wiley,Springer,Blackwell）の継続利用に必要な外国雑誌購入費の補填およびライセンス料を確保した。（91,444 千円）
・ 12 月及び 2 月の配分の部局長裁量経費及び収入見合い経費は、図書館施設・設備の整備費とした。

④ その他の経費

・電子的情報基盤資料整備経費の不足を補填のため、間接経費　15,000 千円を獲得
・電子図書館事業に関連して新聞記事文庫コンテンツ作成のため科学研究費補助金 15,100 千円を獲得
・機関リポジトリ構築のための基礎調査経費のため　教育研究活性化支援経費　1,517 千円を獲得

○ 平成 17 年度附属図書館予算及び決算を巻末に添付する。

◆ 評価と課題

平成 17 年度予算は、学内予算追加要求により学生用資料費の増額が認められ、附属図書館学生用資料費は、従前の倍の規模（61,000 千円）となった。しかしなお、増額の必要な費目である。

平成 17 年度も、平成 16 年度と同様に労働安全衛生の観点からの施設補修、設備改修等の経費が嵩んだ。幸い、全学経費（施設部営繕予算）による執行、労働安全衛生対策経費の配分がなされ、経常経費の負担は少なくすることができた。しかしなお、平成 17 年度に改善できなかった点が残り、今後の整備が課題である。

＜図書資産の管理＞

① 図書資産の点検

平成 17 年度は下記の図書館の点検を授業休業期間等に実施した。

（作業館室等） 総合・海事科学・人文科学・人間科学の各館 約 330,000 冊

なお、平成 16 年度に引き続き、不用資料の抽出作業を実施し、1,179 点を除却した。

② 図書管理規程

「国立大学法人神戸大学図書管理規程」を改訂

逐次刊行物の扱いを次のように変更した。

・ 合冊製本した雑誌については、従来、当該雑誌の購入価額に合冊製本に要した経費を加算した価額としていたが、平成 17 年度より、合冊製本に要した価額とすることに変更した。

③ インターネット書店

神戸大学生協の洋書校費決済代行サービスによりアマゾンの洋書が購入できることになった。

購入の際には７％の手数料が加算される。

④ 法人カードによる図書資料購入の検討

平成 18 年 6 月からの使用開始に向けて種々検討した結果、当分の間は下記の運用で実施することとした。

・ 法人カードが利用できる資料は洋書と古書を対象とした。

・ 洋書についてはインターネットで購入できる洋書。洋書が購入できるインターネット書店は当面は価格面でメリットがあり、安定した実績のある、次の 2 店に限定した。

アマゾン（http://www.amazon.co.jp/）、紀伊国屋書店（BookWeb Pro）

・ 古書については、大学と通常取引のない小規模古書店から購入することが多く、立替払いや業者登録などの煩瑣な事務量が増加しており、これらを解消する点から使用対象とした。

・ 古書の購入できる古書店は VISA 加盟店であればどこでも利用できることとした。

◆評価と課題

資産の効率的運用を図るために昨年度に引き続き、図書資産の点検を総合・国際文化学図書館・人文科学図書館・人間科学図書館・海事科学分館において実施した。教育研究活動に応じた効率的なスペース配分など全学的方針の確立を図るため事務改善 WG において資料保存基準の見直しを検討し、図書館運営委員会に提案し、各館室の現状をもとに館室図書委員会等で対策を検討することとした。

（4）施設整備・システム整備

＜図書館施設の現況＞

・平成 17 年度の図書館施設整備状況について、全９館室の概況をまとめた。
各館室別データは、巻末基本統計参照のこと

	H16 年度末	H17 年度末	分析指標
施設総面積	**25,839 ㎡**	**25,839 ㎡**	**学生あたり面積　1.44 ㎡→ 1.42 ㎡**
図書収容力	**3,005,609 冊**	**3,044,942 冊**	**蔵書数に対する収容可能率 89.10%→ 88.8 %**
閲覧座席数	**1,627 席**	**1,696 席**	**学生数に対する座席率　9.1%→ 9.3 %**

【参考：Ａクラスの国立大学（８学部以上の 16 大学）の平均値】
施設総面積　27,206 ㎡　学生あたり面積　1.66 ㎡
書架収容力　2,668,234 冊　蔵書数に対して 90.5%の収容力
閲覧座席数　1,781 席　学生数に対して 10.9%の座席率

・ 平成 17 年度は、人文科学図書館および総合・国際文化学図書館の書架増設があった。

＜総合・国際文化学図書館の改装＞

・ 追加配分された部局長裁量経費等により、学習環境改善として館内スペースの再配置等を行った。
1） 開架閲覧室にグループ学習室（3 室）を新設
2） 老朽化した開架書架の一部を更新
3） 個人用閲覧机の増設・更新
4） 階段昇降機を新設し、2 階閲覧室の有効利用を図った。
5） 館内トイレの改装

＜自然科学系図書館の改装＞

・ 自然科学系図書館の既設スペースの用途を見直し、サービスエリアの拡大を実現した。部局長裁量経費等を活用して、平成 15 年度末から 3 回に分けて実施したもので、サービススペースは 1,373 ㎡から 1,577 ㎡へ、閲覧座席数は 181 席から 215 席へ、利用者用パソコンは 28 台から 42 台へ、開架書架収容力は 68,000 冊から 88,000 冊へとそれぞれ増加した。主要な改装・移設は下記のとおり
1）開架図書室の拡大　4 階事務室を縮小し、開架図書室に改装
2）パソコン・コーナーを 3 階から 2 階に移設、拡大
3）サービスカウンターを 2 階から 1 階に移設
雑誌書庫利用アクセスの改善、1 階ロビーの有効活用、開架図書室の拡大
4）旧ロッカー室をグループ学習室に改装

＜その他の施設整備＞

・その他の館室についても、部局長裁量経費等により以下の整備を進めた。
社会科学系図書館：閲覧席増設、老巧ブラインドの更新、閲覧室に網戸取付、
人文科学図書館：除湿機の増設
人間科学図書館：閲覧席増設、絨毯の張替え、図書館入り口ドアの交換
医学分館：閲覧席増設
保健科学図書室：閲覧席増設
海事科学分館：閲覧席増設、閲覧室に網戸取付

＜安全点検＞

・平成 17 年度の労働安全衛生に関連する改善事項を記す。

総合･国際文化学図書館	**書架等転倒防止** **消火器設置場所表示** **防災グッズ（懐中電灯･ヘルメット･ハンドマイク）設置**
社会科学系図書館	**大閲覧室机上照明器具安定器取替** **誘導灯バッテリー不良取替** **防災グッズ（懐中電灯･ヘルメット･ハンドマイク）設置**
自然科学系図書館	**危険個所等改修** **絵画の固定** **防災グッズ（懐中電灯･ヘルメット･ハンドマイク）設置**
人文科学図書館	**防災グッズ（懐中電灯･ヘルメット･ハンドマイク）設置**
人間科学図書館	**カーペット補修** **防災グッズ（ヘルメット･ハンドマイク）設置**
医学分館	**書架転倒防止** **絵画の固定** **消火器設置場所表示** **防災グッズ（ヘルメット･ハンドマイク）設置**
保健科学図書室	**書架転倒防止** **防災グッズ（懐中電灯･ヘルメット･ハンドマイク）設置**
海事科学分館	**絵画の固定** **防災グッズ（懐中電灯･ヘルメット･ハンドマイク）設置**

・ 危機管理ライブラリ（保管場所）に設置
図書館施設･設備の安全点検に努め、利用者･職員の事故防止のための装置を迅速にはかること目的として全館室の時間外･休日開館時の非常時対応マニュアルを作成した。
全館室のカウンターに非常灯、ヘルメット、ハンドマイクを常備した。2 月に「附属図書館危機管理ライブラリ」を設置した。

◆ 評価と課題

総合・国際文化学図書館の開架図書室の整備計画を策定し、18 年度事業計画の重点事項として学内予算を要求している。

社会科学系図書館本館（昭和 8 年竣工）の大閲覧室及びホール部分の冷房設備新設、大閲覧室の照明器具の増設・更新についても引き続き学内予算を要求している。

＜システム整備＞

・ 平成１８年１月にリプレースした図書館業務システムにおいて、下記のような機能向上を図ることができた。
・ 図書館業務システムをこれまでの国立大学向けパッケージ NEC-LICSU-LX(UNIX サーバ及び X クライアント)から、より汎用性の高い図書館業務パッケージ NEC-LICSUWEB(LINUX サーバ及び WEB クライアント）に変更した。
・ データベースの文字コードを従来の EUC から UTF-8 に変更し、アジア諸言語や東欧圏等これまで外字コードを用いていた言語を表現することが可能となった。
・ 目録検索においても多言語表示が可能となり、さらに国立情報学研究所との横断検索機能や検索結果のメール送信機能等を強化した。

・ WEB による利用者サービスの強化（図書資料の発注・文献複写／相互貸借の申込・予算確認・貸出中資料の参照・予約・配送等）をはかった。
・ 利用者サービス認証に学術情報基盤センターが提供する統合ユーザ管理システム（平成１８年４月本格稼動）を利用することにより、従来図書館用に申請していたパスワードが不要となり、利便性が増した。
・ 蔵書点検システムを導入することにより、蔵書点検作業の手順を軽減した。

・ 学術情報基盤センターのシステム更新（平成１８年１月）により、下記のような機能向上・利用者環境の整備を図ることができた。
・ 従来教務学籍データベースとの連携により学生の利用者データベースを構築していたが、統合ユーザ管理システムが稼動したことにより、在籍するほぼすべての教職員・学生についての利用者データベースを構築することが可能となった。

◆評価と課題

・ 学術情報基盤センターの統合ユーザ管理システムが稼動したことによりデータベース構築・ユーザ認証に大幅な前進を見たが、図書館利用証機能を持った職員証発行には至っておらず、関係各所に働きかけてこれを実現することがこれからの課題である。

（５）図書館界での諸活動

＜国立大学図書館協会＞

・ 総会において、引き続いて監事館に選出され、協会活動の監査業務を行うとともに、理事会に出席した。
・ 昨年に引き続いて、「人材委員会」（情報管理課長）、「経営問題委員会社会連携小委員会」（情報サービス課長）に委員を派遣した。

＜兵庫県大学図書館協議会＞

・ 引き続き、会長館、事務局として協議会の運営にあたった。
・ 平成１７年度は、それに加えて研修担当館として、協議会の研修事業の企画・運営にあたった。
  ・ 研究会「資料・情報を読者へ－書店から学ぶこと」
  ・ 講演会「図書館巡る法制度－著作権法の動向と個人情報保護法」
  ・ 施設見学「神戸国際大学情報センター」
・ 県の大学図書館にとどまらず、公共図書館や大学図書館近畿イニシアティブ加盟館とも連携強化を図った。
・ 平成 17 年度の活動成果として、加盟館の名簿様式の変更及び相互協力便覧作成を総会にて提案、了承された。

＜その他＞

・ 日本医学図書館協会近畿地区協議会シンポジウム（日本薬学図書館協議会、近畿病院図書室協議会と共催）の実行委員会委員を努めた（情報管理課補佐）。
・ 昨年度に引き続き、国立情報学研究所の総合目録データベース「継続資料の取扱いに関する小委員会」（H16～17 年度）に委員を派遣した（情報リテラシー係長）。

◆評価と課題

大学図書館協会の活動は、会員間で緊密な連携と協力を図ることにより、図書館機能の向上を支援するとともに、学術情報資源の共同整備と相互利用を促進し、加えて大学図書館職員の資質向上のためにメリットが大きい。

附属図書館蔵書・受入等の現況（平成１７年度）

			総合・国際	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
蔵書	蔵書数 （冊）		474,428	1,226,774	456,274	268,610	305,819	265,862	131,414	52,812	247,235	3,429,228
	和洋区分	和漢書	332,726	560,963	239,746	166,242	235,607	113,451	48,943	45,735	189,901	1,933,314
		洋書	141,702	665,811	216,528	102,368	70,212	152,411	82,471	7,077	57,334	1,495,914
	目録状況	目録入力対象	421,000	882,000	290,000	233,000	229,000	204,000	52,000	45,000	196,000	2,552,000
		入力済	270,900	665,600	165,200	174,600	178,600	64,100	31,000	44,000	194,000	1,788,000
		未入力	150,100	216,400	124,800	58,400	50,400	139,900	21,000	1,000	2,000	764,000
	所蔵雑誌数 （タイトル数）		2,276	7,868	4,896	3,891	2,259	4,034	2,095	574	4,847	32,740
	和洋区分	国内雑誌	1,397	2,084	2,275	2,790	1,544	1,947	696	428	3,403	16,564
		外国雑誌	879	5,784	2,621	1,101	715	2,087	1,399	146	1,444	16,176
図書受入	受入図書数 （冊）		5,664	4,720	19,042	7,350	5,457	4,418	2,986	3,273	2,172	3,250	58,332
	和洋区分	和漢書	5,625	3,350	9,935	3,924	3,998	3,968	2,020	1,943	2,034	2,916	39,713
		洋書	39	1,370	9,107	3,426	1,459	450	966	1,330	138	334	18,619
	取得手段	購入（一般財源）	5,479	3,474	8,215	2,980	1,580	3,073	943	1,044	1,322	2,373	30,483
		補助金による購入	0	902	6,570	1,460	2,897	969	605	420	435	67	14,325
		一般寄贈	0	203	1,475	789	442	123	801	367	280	447	4,927
		製本編入	185	141	2,782	2,121	538	253	637	1,442	135	363	8,597
	取得目的	学生用図書	5,590	1,279	5,032	2,178	1,682	1,920	204	1,462	1,114	2,471	22,932
		図書館備付	0	476	5,484	1,538	172	0	1,914	1,388	0	0	10,972
		研究室備付	74	2,965	8,526	3,634	3,603	2,498	868	423	1,058	779	24,428
	除却・移譲等による減 （冊）		0	0	805	0	9	1,179	0	0	0	0	1,993
	和洋区分	和漢書	0	0	799	0	9	944	0	0	0	0	1,752
		洋書	0	0	6	0	0	235	0	0	0	0	241
	年間増加数 （冊）		5,664	4,720	18,237	7,350	5,448	3,239	2,986	3,273	2,172	3,250	56,339
	和洋区分	和漢書	5,625	3,350	9,136	3,924	3,989	3,024	2,020	1,943	2,034	2,916	37,961
		洋書	39	1,370	9,101	3,426	1,459	215	966	1,330	138	334	18,378
雑誌受入	受入雑誌数 （タイトル数）		127	583	2,603	1,407	1,804	1,171	996	976	420	1,147	11,234
	和洋区分	国内雑誌	96	472	891	1,070	1,528	996	497	494	333	975	7,352
		外国雑誌	31	111	1,712	337	276	175	499	482	87	172	3,882
	取得手段	購入（一般財源）	127	181	2,152	718	341	487	389	319	152	242	5,108
		補助金による購入	0	1	60	14	0	0	0	99	0	0	174
		一般寄贈	0	401	391	675	1,463	684	607	558	268	905	5,952
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	取得目的	学生用雑誌	96	61	43	174	23	172	0	68	119	285	1,041
		図書館備付	0	417	2,151	970	1,781	684	974	781	268	815	8,841
		研究室備付	31	105	409	263	0	315	22	127	33	47	1,352
その他資料受入	受入新聞数 （タイトル数）		7	3	43	10	6	6	11	5	7	14	112
	和洋区分	国内新聞	6	0	25	9	4	6	6	4	7	13	80
		外国新聞	1	3	18	1	2		5	1	0	1	32
	取得手段	購入	6	3	43	10	6	6	11	5	4	11	105
		寄贈	1	0	0	0	0	0	0	0	3	3	7
	データベース（年間契約点数）		7	0	3	1	0	0	0	4	0	2	17
	電子ジャーナル（利用可能数）		8,880										8,880
資料購入費（円）	一般財源資料費		124,584,755	23,743,603	194,595,040	86,033,686	27,845,725	28,988,759	36,000,863	56,307,800	16,267,265	19,933,206	614,300,702
	図書館セグメント	学生用図書	16,028,549	4,152,996	9,538,881	11,430,876	4,295,014	5,077,464	1,014,406	5,628,000	3,151,975	3,406,994	63,725,155
		その他資料費	104,969,745	0	30,089,190	0	0	0	0	0	0	0	135,058,935
	部局セグメント	館室備付	985,182	5,321,626	114,587,086	54,052,842	9,841,996	6,095,994	32,161,549	38,241,877	8,260,000	12,600,136	282,148,288
		研究室備付	2,601,279	14,268,981	40,379,883	20,549,968	13,708,715	17,815,301	2,824,908	12,437,923	4,855,290	3,926,076	133,368,324
	その他の財源 補助金等		18,565,450	5,225,309	45,766,635	14,136,630	17,037,913	4,684,294	1,741,137	7,813,461	695,274	751,948	116,418,051
		COE等（外数）			7,423,211	56,564			721,744				8,201,519
	図書購入費		15,245,987	23,623,299	115,450,606	35,911,819	35,950,521	18,515,577	13,471,468	12,293,009	6,994,951	10,961,517	288,418,754
	和洋区分	和漢書	14,859,604	13,398,157	33,672,182	16,397,822	23,293,444	14,385,408	4,687,468	7,769,450	5,998,995	7,052,763	141,515,293
		洋書	386,383	10,225,142	81,778,424	19,513,997	12,657,077	4,130,169	8,784,000	4,523,559	995,956	3,908,754	146,903,461
	雑誌購入費		80,595,601	3,862,524	106,567,766	60,770,775	7,415,156	12,653,300	22,228,554	36,906,666	8,458,909	8,633,060	348,092,311
	和洋区分	国内雑誌	1,274,958	768,109	22,270,424	7,440,291	1,257,249	4,201,113	4,281,860	4,043,801	1,763,876	2,165,826	49,467,507
		外国雑誌	79,320,643	3,094,415	84,297,342	53,330,484	6,157,907	8,452,187	17,946,694	32,862,865	6,695,033	6,467,234	298,624,804
	新聞購入費		287,796	210,707	2,646,340	458,376	287,496	132,900	494,676	240,696	130,920	480,088	5,369,995
	電子資料費		46,631,325	0	0	1,823,994	85,627	0	1,497,300	14,402,136	676,250	579,275	65,695,907
	その他の資料購入費		389,496	1,272,382	15,696,963	1,205,352	1,144,838	2,371,276	50,002	278,754	701,509	31,214	23,141,786
	資料購入費 計		143,150,205	28,968,912	240,361,675	100,170,316	44,883,638	33,673,053	37,742,000	64,121,261	16,962,539	20,685,154	730,718,753
	電子コンテンツ作成費		46,000,997										46,000,997
	製本費		606,186	5,090,589	3,101,406	1,212,435	444,003	1,146,852	2,660,091	245,217	649,803	15,156,582

附属図書館サービス業務の現況（平成１７年度）

			総合・国際	社会系	自然系	人文	人間	研究所	医学	保健	海事	合計
施設	施設面積合計（㎡）		3,396	10,707	3,287	1,198	1,457	1,164	1,612	848	2,170	25,839
	現行用途別（㎡）	サービススペース	1,693	2,365	1,577	478	493	170	838	653	719	8,986
		書庫スペース	1,196	5,801	449	372	716	885	431	38	1,051	10,939
		事務スペース	233	524	351	154	155	80	163	35	159	1,854
		その他	274	2,017	910	194	93	29	180	122	241	4,060
	閲覧座席数	閲覧座席数	489	412	215	71	137	9	160	70	133	1,696
		上のうち、教員用	10	0	0	0	0	9	0	0	0	19
	書架収容力	棚板延長（m）	10,364	51,264	10,684	8,789	6,525	7,581	5,616	1,537	7,258	109,618
		収容可能冊数	287,888	1,424,000	296,777	244,139	181,250	210,583	156,000	42,694	201,611	3,044,942
	利用者端末台数		46	53	42	14	19	3	15	12	20	224
利用者	利用対象者総数		7,246	3,986	5,087	753	1,223	60	2,902	774	919	22,950
	利用者別	学部学生	6,739	2,085	2,022	302	656	0	307	360	528	12,999
		大学院生	231	1,374	1,881	263	346	0	753	224	133	5,205
		教職員	154	527	1,171	131	206	56	1,513	190	180	4,128
		その他	11	0	13	51	0	4	329	0	10	418
		学外登録者総数	111	0	0	6	15	0	0	0	68	200
			内訳：卒業生等37、放送大学42、一般市民：121									
開館入館	開館日数	年間	257	309	270	272	268	240	292	252	266	2,426
		土曜（内数）	33	38	34	34	34	0	50	34	34	291
		休日（内数）	2	31	6	2	2	0	0	0	3	46
	時間外等開館時間数	平日時間外開館	496	528	486	510	515	0	958	486	496	4,475
		土曜開館	148.5	171	153	153	153	0	400	153	156.5	1,488
		休日開館	9	139.5	27	9	9	0	0	0	24	217.5
	入館者数	年間入館者総数	378,216	241,000	139,966	64,980	86,699	8,428	106,609	79,069	49,112	1,154,079
		時間内（含：土日）	341,993	185,197	108,251	54,760	76,196	8,428	69,119	65,934	42,654	952,532
		平日時間外	36,223	55,803	31,326	10,220	10,503	0	19,928	13,135	6,458	183,596
		閉館時（無人）	0	0	560	0	0	0	17,562	0	0	18,122
		土曜（内数）	1,795	11,503	3,076	1,204	1,317	0	5,318	636	1,276	26,125
		休日（内数）	169	8,701	1,190	30	94	0	0	0	558	10,742
		学外者（内数）	462	813	216	269	105	92	1,702	365	492	4,516
		うち一般市民	387	270	116	53	34	14	1,080	211	283	2,448
貸出	貸出総冊数		68,500	78,107	31,532	14,951	18,580	3,526	12,458	14,136	18,816	260,606
	利用者別	学生	48,870	19,962	19,842	3,730	11,086	679	5,927	10,992	9,396	130,484
		院生	15,255	45,779	10,227	8,851	6,096	1,640	1,940	1,961	5,975	97,724
		教員	2,496	7,250	908	1,679	891	1,129	1,231	977	1,861	18,422
		職員	1,431	2,403	496	570	150	78	2,773	176	881	8,958
		その他	55	10	21	0	5	0	515	30	275	911
		学外者総数	393	2,703	38	121	352	0	72	0	428	4,107
		うち一般市民	269	0	0	0	0	0	0	0	409	678
参考調査	参考調査件数		4,051	4,578	1,620	1,238	515	875	1,240	1,668	2,663	18,448
	利用者別	学生	3,595	2,701	1,215	953	385	481	160	1,172	1,582	12,244
		教職員	412	275	270	85	55	175	250	131	488	2,141
		学外者	44	1,602	135	200	75	219	830	365	593	4,063
複写相互利用	来館複写件数		13,730	15,273	19,732	3,578	11,434	5,407	24,490	10,952	2,180	106,776
	利用者別	学内者	12,806	14,820	19,699	3,040	11,226	5,145	14,646	10,222	1,820	93,424
		学外者	924	453	33	538	208	262	9,844	730	360	13,352
	学内相互利用	ILL文献複写　受付	66	141	283	210	217	62	577	267	128	1,951
		ILL文献複写　依頼	127	94	257	132	837	1	271	404	101	2,224
	図書配送	配送申込者数	650	687	154	238	425	0	114	132	525	2,925
		配送冊数	1,371	1,191	300	383	940	0	269	188	694	5,336
	学外相互利用	ILL文献複写　受付	297	5,885	2,499	912	824	423	3,282	392	507	15,021
		ILL文献複写　依頼	708	889	1,748	892	2,488	25	2,871	1,615	177	11,413
		ILL現物貸借　受付	310	1,637	151	451	153	27	26	18	73	2,846
		ILL現物貸借　依頼	313	522	153	609	375	8	9	32	6	2,027
	海外ILL	文献複写　受付	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		文献複写　依頼	6	4	0	6	9	0	5	1	0	31
		現物貸借　受付	0	2	0	0	1	0	0	0	0	3
		現物貸借　依頼	15	1	1	0	3	0	0	0	0	20

電子的情報サービスの現況（H17）

電子ジャーナルタイトル数（H17.4）

5,438

電子ジャーナルアクセス状況（2005.1～12）

フルテキストへのアクセス数

	2005.1	2005.2	2005.3	2005.4	2005.5	2005.6	2005.7	2005.8	2005.9	2005.10	2005.11	2005.12	合計
Elsevier	18,657	21,241	16,802	22,121	23,691	25,862	22,758	26,788	32,399	27,284	26,890	22,159	286,652
SpringerLINK	1,420	1,166	1,175	1,388	1,522	1,703	1,653	1,274	1,783	1,654	1,838	1,402	17,978
Wiley InterScience	2,175	1,730	1,865	2,344	3,041	2,840	1,894	2,433	2,505	3,025	2,859	2,154	28,865
Blackwell HSS	1,410	1,268	1,374	1,392	1,587	1,875	2,025	1,674	2,712	1,809	1,526	1,731	20,383
JSTOR	933	946	835	1,044	1,427	1,463	2,933	1,256	6,404	1,234	1,419	1,179	21,073
Nature	3,512	3,535	3,534	4,382	4,538	4,959	3,786	3,255	4,142	4,584	4,692	3,984	48,903
Science Online	1,632	1,225	1,147	1,306	1,575	1,668	1,183	990	1,412	1,594	1,469	1,101	16,302
IEEE CSLSP-e	86	62	128	863	273	552	412	586	133	194	533	203	4,025
ACM Portal	148	139	70	140	166	204	238	169	166	186	157	100	1,883
APS	1,153	1,162	737	870	1,038	986	1,082	728	1,169	1,333	1,454	1,348	13,060
LWW via Ovid	385	356	599	562	605	895	562	637	795	780	837	816	7,829
ACS	1,649	1,577	1,625	7,525	6,415	3,230	1,950	2,567	4,377	4,890	3,628	2,588	42,021

導入データベース数（H17.12）

全学利用	39	WWWアクセス（外部サーバ）8、学内サーバ（ERL等）5、CD-ROMサーバ26
キャンパス限定（医学・海事）	5	医学3、海事2
スタンドアロン	284	各館館内利用のみ

データベースアクセス状況（2005.1～12）

各項上段がセッション数、下段（カッコ）が検索数

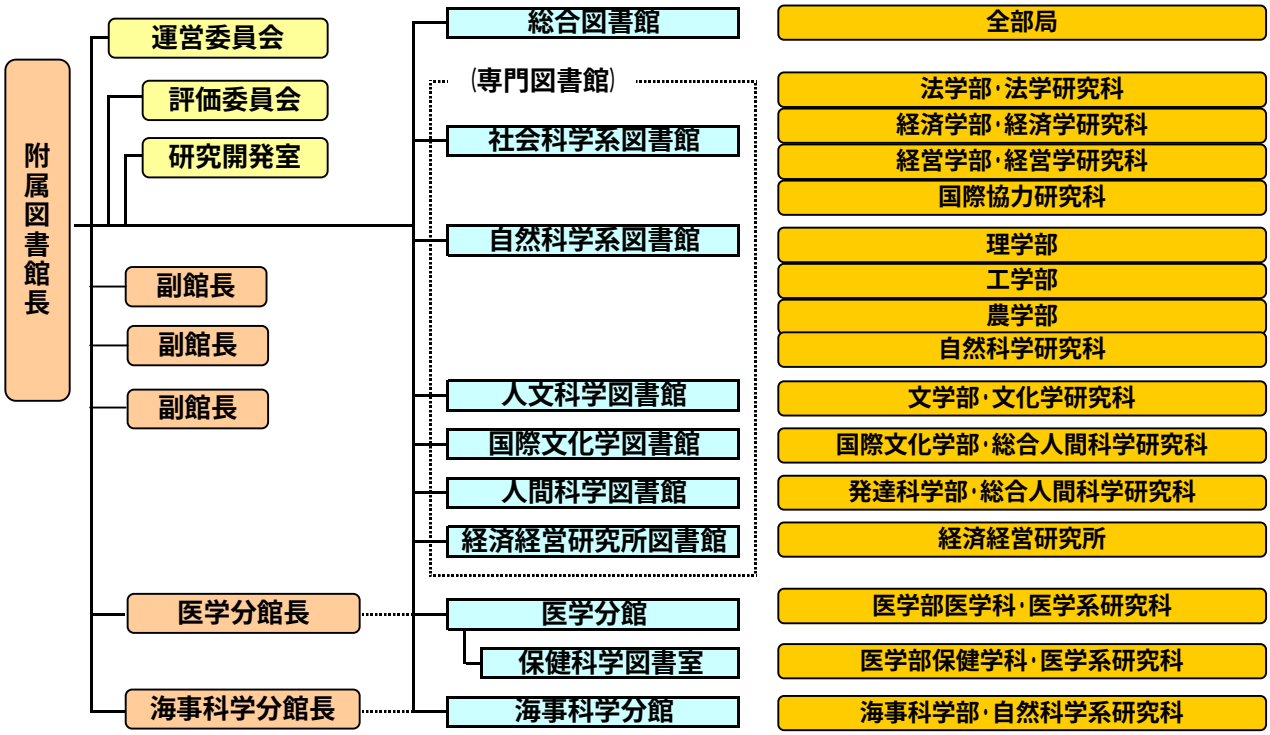
	2005.1	2005.2	2005.3	2005.4	2005.5	2005.6	2005.7	2005.8	2005.9	2005.10	2005.11	2005.12	合計
Web of Science SCIE	667 (3,124)	528 (2,265)	595 (2,659)	875 (3,338)	1,127 (4,581)	1,304 (4,839)	897 (3,737)	858 (3,118)	907 (3,809)	998 (4,715)	1,132 (4,498)	849 (3,050)	10.737 (43.733)
医学中央雑誌	1,645 (11,428)	1,379 (9,112)	1,404 (9,115)	1,772 (13,471)	2,174 (12,496)	1,747 (10,831)	1,406 (11,911)	1,423 (9,565)	1,557 (10,572)	1,928 (12,628)	2,123 (15,468)	1,640 (11,308)	20.198 (137.905)
MathSciNet	2,286 (3,693)	1,312 (2,679)	1,286 (2,400)	1,200 (2,606)	1,173 (2,528)	1,364 (2,723)	884 (1,814)	735 (1,464)	1,569 (2,495)	13,147 (14,088)	1,020 (2,338)	1,270 (2,437)	27.246 (41.265)
SciFinder scholar	197 (879)	161 (682)	102 (323)	311 (1,182)	291 (1,344)	285 (962)	248 (1,044)	235 (878)	276 (933)	319 (1,017)	257 (1,001)	220 (781)	2.902 (11.026)
Readers Guide to Periodical Literature	28 (158)	27 (216)	24 (80)	32 (132)	66 (143)	48 (83)	34 (154)	31 (185)	22 (74)	51 (109)	58 (147)	55 (184)	476 (1.665)
Business Periodicals Index	53 (304)	46 (373)	75 (605)	85 (422)	140 (551)	94 (365)	67 (412)	42 (218)	56 (301)	81 (339)	98 (368)	81 (313)	918 (4.571)
EconLit	329 (2,952)	260 (2,087)	348 (2,961)	463 (4,756)	499 (2,963)	542 (3,260)	415 (2,975)	345 (2,045)	290 (1,771)	451 (4,850)	384 (2,729)	415 (5,565)	4.741 (38.914)
Index to Legal Periodicals	35 (109)	27 (129)	40 (202)	64 (269)	67 (77)	96 (279)	41 (123)	48 (152)	32 (80)	59 (122)	84 (154)	61 (99)	654 (1.795)
JCR	2005.4より導入			130 (90)	182 (169)	331 (709)	253 (868)	200 (619)	180 (964)	279 (895)	231 (2,243)	198 (482)	1.984 (7.039)
JapanKnowledge	2005.4.21より導入			31	195	284	139	164	132	128	121	132	1,326
CiNii	NACSIS-ELS（統計なし）			(3,052)	(5,026)	(5,252)	(3,575)	(2,544)	(2,946)	(5,774)	(4,494)	(4,098)	(36,761)
SwetScan	298	274	236	535	763	753	337	246	235	378	409	271	4,735

聞蔵（朝日新聞）は統計データ未公開

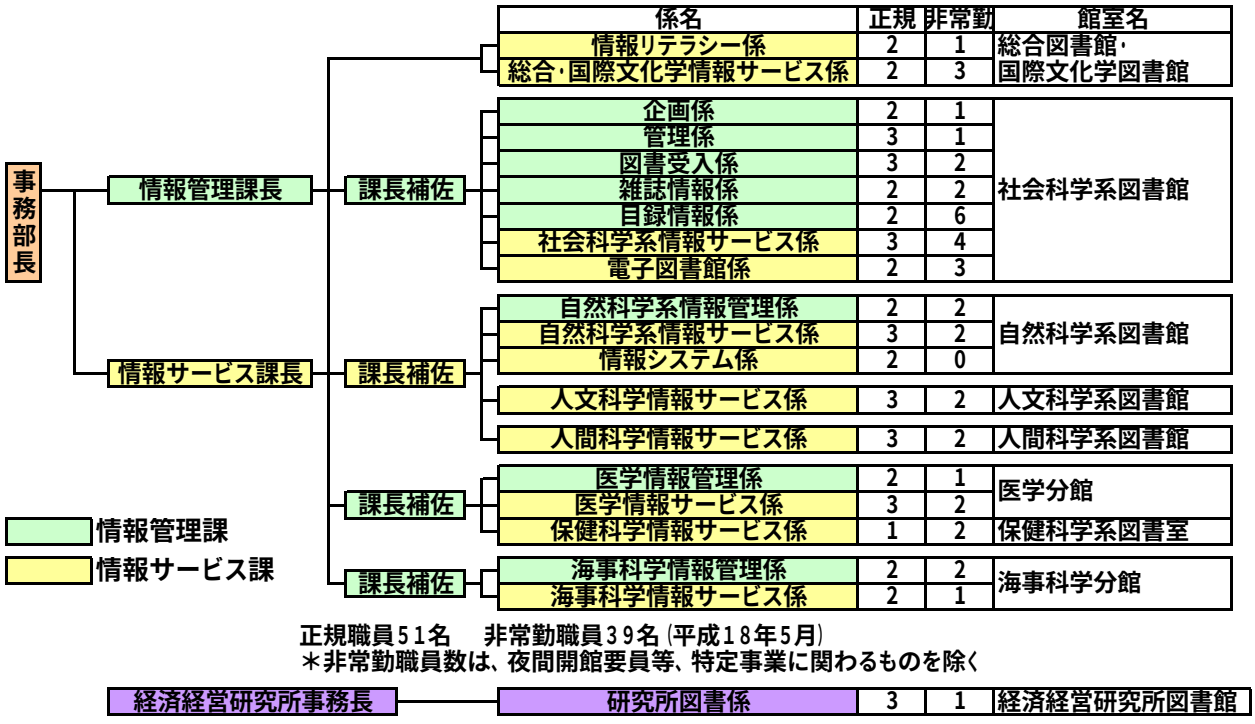
図書館ホームページ、OPAC等アクセス統計（H17.4～H18.3）

	H17.4	H17.5	H17.6	H17.7	H17.8	H17.9	H17.10	H17.11	H17.12	H18.1	H18.2	H18.3	合計
図書館トップページ	42,834	65,825	70,782	69,524	45,181	44,019	64,010	62,593	54,986	61,896	56,367	41,184	679,201
（うち学内）	28,380	48,837	53,178	48,974	28,648	29,341	50,698	44,262	38,453	43,078	37,508	36,181	487,538
（うち学外）	14,454	16,988	17,604	20,550	16,533	14,678	13,312	18,331	16,533	18,818	18,859	5,003	191,663
震災文庫トップページ	5,160	5,351	5,480	5,395	6,519	5,210	6,501	6,399	5,446	6,462	4,679	4,187	66,789
（うち学内）	151	412	300	299	217	97	151	245	193	232	259	164	2,720
（うち学外）	5,009	4,939	5,180	5,096	6,302	5,113	6,350	6,154	5,253	6,230	4,420	4,023	64,069
新聞記事文庫トップページ	5,137	7,540	7,238	6,705	6,559	5,420	6,348	7,127	5,807	7,078	6,093	5,412	76,464
（うち学内）	65	591	348	216	98	52	88	171	50	107	88	109	1,983
（うち学外）	5,072	6,949	6,890	6,489	6,461	5,368	6,260	6,956	5,757	6,971	6,005	5,303	74,481
OPAC延べ検索回数	104,621	131,528	145,093	135,720	85,715	77,645	129,595	124,406	103,777	131,000	103,105	69,824	1,342,029
（うち学内）	88,901	111,194	122,610	112,630	66,172	61,291	107,616	102,561	82,790	107,500	85,517	55,096	1,103,878
（うち学外）	15,720	20,334	22,483	23,090	19,543	16,354	21,979	21,845	20,987	23,500	17,588	14,728	238,151

＜附属図書館組織図＞



＜附属図書館事務組織図＞



係名	正規	非常勤	館室名
情報リテラシー係	2	1	総合図書館・国際文化学図書館
総合・国際文化学情報サービス係	2	3	
企画係	2	1	社会科学系図書館
管理係	3	1	
図書受入係	3	2	
雑誌情報係	2	2	
目録情報係	2	6	
社会科学系情報サービス係	3	4	
電子図書館係	2	3	
自然科学系情報管理係	2	2	自然科学系図書館
自然科学系情報サービス係	3	2	
情報システム係	2	0	
人文科学情報サービス係	3	2	人文科学系図書館
人間科学情報サービス係	3	2	人間科学系図書館
医学情報管理係	2	1	医学分館
医学情報サービス係	3	2	
保健科学情報サービス係	1	2	保健科学系図書室
海事科学情報管理係	2	2	海事科学分館
海事科学情報サービス係	2	1	
研究所図書係	3	1	経済経営研究所図書館

正規職員５１名　非常勤職員３９名（平成１８年５月）
＊非常勤職員数は、夜間開館要員等、特定事業に関わるものを除く

平成１７年度附属図書館諸会議一覧

＜附属図書館審議会＞

第１回：１０月１３日（木）　16:00～（於：事務局大会議室）
　審議
　　（１）教育研究支援強化のための諸施策の具体化について
　　１）教育研究基盤資料の維持・整備方策
　　２）神戸大学機関リポジトリ構想

第２回：　１月１２日（木）　16:00～（於：事務局大会議室）
　審議
　　（１）教育研究支援強化のための諸施策の具体化について（中間報告）
　　１）教育研究基盤資料の維持・整備方策
　　２）神戸大学機関リポジトリ構想

第３回：　３月９日（木）　16:00～（於：自然科学研究科大会議室）
　審議
　　（１）教育研究支援強化のための諸施策の具体化について（答申案）
　　１）教育研究基盤資料の維持・整備方策
　　２）神戸大学機関リポジトリ構想

＜附属図書館審議会特別委員会＞

第１回：１１月１５日（火）　17:00～（於：館長室）
　議事
　　（１）教育研究基盤資料の維持・整備方策
　　（２）神戸大学機関リポジトリ構想について

第２回：１２月５日（月）　10:00～（於：館長室）
　議事
　　（１）教育研究基盤資料の維持・整備方策
　　（２）神戸大学機関リポジトリ構想について

第３回：１２月１３日（火）　10:00～（於：館長室）
　議事
　　（１）教育研究基盤資料の維持・整備方策
　　（２）神戸大学機関リポジトリ構想について

第４回：１月６日（金）　13:30～（於：館長室）
　議事
　　（１）教育研究基盤資料の維持・整備方策
　　（２）神戸大学機関リポジトリ構想について

第５回：２月２７日（月）　10:00～（於：館長室）

議事

（１）中間報告に対する各部局のご意見について

（２）教育研究基盤資料の維持・整備方策（答申案）について

（３）神戸大学機関リポジトリの構築（答申案）について

（４）今後のスケジュールについて

（５）その他

第６回：３月６日（月）　15:00～（於：館長室）

議事

（１）教育研究基盤資料の維持・整備方策　答申（案）について

（２）中間報告に対する各部局のご意見

＜附属図書館運営委員会＞

第１回：　５月１６日（月）　10:00～12:15（於：自然科学系図書館会議室）

報告事項

（１）各図書館・室報告

（２）全学諸会議について

（３）平成１６年度年次報告について

（４）平成１７年度図書館各種ガイダンスについて

（５）総合・国際文化学図書館グループ学習室の設置について

（６）その他（間接経費について）

協議事項

（１）附属図書館審議会規則 運営委員会規程の改正について

（２）附属図書館利用細則の改正について

（３）平成１６年度決算について

（４）平成１７年度電子図書館事業について

（５）平成１７年度目録遡及入力事業について

（６）平成１７年度総合図書館学生用資料整備計画について

（７）研究基盤資料の整備について

（８）その他

第２回：　６月２４日（金）　10:00～12:30（於：附属図書館プレゼンホール）

報告事項

（１）各図書館・室報告（図書委員会開催報告）

（２）全学諸会議について

（３）図書館協議会等について

（４）特別教育研究経費の要求について

（５）学生生活実態調査に対するコメントについて

（６）平成１６年度年次報告書について

（７）その他

協議事項

（１）２００６年外国雑誌購読調査について

（２）ＥＵＩＪ関西・大学図書館相互協力に関する協定について

（3）その他（学術情報基盤としての大学図書館等の今後の整備の在り方について）

第３回：　１２月１日（木）　15:00～17:30（於：附属図書館プレゼンホール）

報告事項

（1）各図書館・室報告（図書委員会開催報告）
（2）全学諸会議について
（3）図書館協議会等について
（4）年次計画について
（5）2006 年外国雑誌調査の結果について
（6）附属図書館審議会について
（7）施設部ヒヤリングについて
（8）「鶴甲１団地施設整備計画勉強会（仮称）」について
（9）EUIJ 関西・大学図書館相互利用規程の締結について
（１０）図書館管理規程の改正について
（１１）附属図書館利用者アンケートについて
（１２）学生生活実態調査について
（１３）図書館展示会について
（１４）その他

協議事項

（1）平成１７年度補正予算について
（2）平成１８年事業予算について
（3）「機関リポジトリ」に関するアンケートの実施について
（4）図書館資料の保存基準について
（5）その他

第４回：　３月１５日（水）　10:00～12:30（於：附属図書館プレゼンホール）

報告事項

（1）図書館審議会について
（2）附属図書館評価委員会について
（3）平成 18 年度全学年度計画について
（4）研究開発室会議について
（5）各館室図書委員会について
（6）平成 17 年度第２次補正予算について
（7）平成 18 年度事業計画について
（8）図書館利用のマナーについて
（9）その他
　1）神戸大学法人カードによる書籍購入について
　2）図書館利用案内
　3）電子ジャーナルの管理システム
　4）業務改善プロジェクトの動向

協議事項

（1）平成 18 年度附属図書館当初予算配分について
（2）平成 18 年度附属図書館学生用資料について
（3）時間外開館の拡大について
（4）各館室における資料収容について

（５）資料の不用決定について
（６）その他

＜附属図書館長・副館長懇談会＞

第１回：　４月８日（金）　10:00～（於：自然科学系図書館会議室）
議題
（１）附属図書館の現状と課題について
（２）その他

＜附属図書館長・副館長・分館長懇談会＞

第１回：　９月２１日（水）　10:00～（於：附属図書館プレゼンホール）
議題
（１）図書館審議会の開催について
（２）機関リポジトリ構想について
（３）平成１７年度予算要求について
（４）各種会議・委員会報告
（５）その他
１）附属図書館展示会の開催について
２）EUIJ 関西・図書館相互利用協定について
３）平成１７年秋期図書館ガイダンス実施計画について

第２回：　３月１日（水）　10:00～（於：附属図書館プレゼンホール）
議題
（１）図書館審議会について
（２）平成１７年度第２次補正予算について
（３）平成１８年度事業計画について
（４）各館室の資料収容力調査について
（５）学生用資料整備事業の評価実施について
（６）図書館利用上の共通ルールについて
（７）その他

＜附属図書館評価委員会＞

第１回：　９月２１日（水）　11:30～（於：附属図書館プレゼンホール）
報告事項
（１）中期計画実施予定表（図書館関連事項）について
（２）その他
審議事項
（１）平成１７年度年次計画について
（２）図書館利用者アンケートについて
（３）その他

第２回：　３月１日（水）　11:30～（於：附属図書館プレゼンホール）

報告事項

（1）利用者アンケート調査の集計報告について

審議事項

（1）　平成１７年度達成度報告について

（2）　平成１７年度年次報告書の作成について

＜附属図書館研究開発室会議＞

第１回：　５月２６日（木）　10:30～（於：自然科学系図書館会議室）

議題

（1）経過の報告について

（2）平成１６年度電子図書館システム事業報告について

（3）平成１７年度電子図書館システム事業計画について

（4）その他（機関リポジトリについて）

＜全学図書系係長会議＞

第１回：　９月２１日（水）　15:00～（於：附属図書館プレゼンホール）

議題

（1）（全学）中期計画実施予定表（図書館関連）について

（2）平成１７年度図書館年次計画について

（3）図書館利用者アンケートについて

（4）平成１７年度追加予算要求について

（5）経費の節減について

（6）平成１８年度事業計画について

（7）2006 年外国雑誌購読調査の結果について

（8）図書管理規程の改訂について

（9）2007 年以降の経費のあり方等に関する検討について

（１０）EUIJ 関西 図書館相互利用協定について

（１１）機関リポジトリ設置に向けた検討について

（１２）図書館展示会について

（１３）秋期図書館ガイダンス等について

（１４）事務改善プロジェクト WG について

（１５）NACSIS-CAT／ILL の課題について

（１６）個人情報保護法への対応について

（１７）名札の着用について

（１８）諸会議報告（学外諸会議、学内諸会議、館内諸会議等）

（１９）各補佐・係長報告

第２回：　１２月１２日（月）　15:00～（於：附属図書館プレゼンホール）

議題

（1）平成１７年度年次計画進捗状況について

（2）平成１８年度年次計画案について

（3）図書館利用者アンケートについて

（4）平成１７年度年次報告書について

（５）平成１７年度年度末整備について
（６）平成１８年度事業計画について
（７）図書館審議会について
（８）資料収容の現状等調査について
（９）貴重資料の現状調査について
（１０）図書館業務システムの更新作業について
（１１）事務改善プロジェクト WG について
（１２）利用者への対応・接遇の改善について
（１３）諸会議報告（学外諸会議、学内諸会議、館内諸会議等）
（１４）各補佐・係長報告

第３回：　１月１１日（水）　13:00～（於：附属図書館プレゼンホール）
議題
（１）図書館審議会関係
（２）業務改善プロジェクト　係業務量調査について
（３）利用者への対応・接遇の改善について
（４）資料収容の現状等調査について
（５）図書館業務システムの更新関連
（６）安全衛生関係
（７）その他
（８）各補佐・係長報告

第４回：　３月２４日（金）　15:00～（於：自然科学系図書館会議室）
議題
（１）図書館審議会について
（２）平成１７年度第２次補正予算について
（３）平成１８年度事業計画について
（４）平成１８年度附属図書館当初予算配分について
（５）平成１８年度附属図書館学生用資料について
（６）平成１７年度附属図書館年次計画進捗状況について
（７）平成１７年度全学実績報告書について
（８）平成１８年度附属図書館年次計画について
（９）平成１８年度全学年度計画について
（１０）業務改善プロジェクトの動向
（１１）利用者アンケート調査報告について
（１２）時間外開館の拡大について
（１３）図書館利用のマナーについて
（１４）各館室における資料収容について
（１５）神戸大学法人カードによる書籍購入について
（１６）図書館利用案内について
（１７）電子ジャーナルの管理システム
（１８）労働時間の弾力的な運用について
（１９）諸会議報告（学外諸会議、学内諸会議、館内諸会議等）
（２０）各補佐・係長報告

＜附属図書館審議会委員名簿＞

所属・官職	氏　名	備考
附属図書館長	須　藤　健　一	議長
文学部長 文化学研究科長	松　嶋　隆　二	
国際文化学部長	宗　像　　惠	
発達科学部長	和　田　　進	
法学研究科長	山　田　誠　一	
経済学研究科長	中　谷　　武	
経営学研究科長	櫻　井　久　勝	
理学部長	武　田　　廣	
医学系研究科長	前　田　　盛	
工学部長	薄　井　洋　基	
農学部長	中　村　千　春	
海事科学部長	久　保　雅　義	
自然科学研究科長	福　田　秀　樹	
国際協力研究科長	太　田　博　史	
経済経営研究所長	山　地　秀　俊	
医学部附属病院長	春　日　雅　人	
学術情報基盤センター長	鏑　木　　誠	
大学教育推進機構 全学共通教育部長	堀　尾　尚　志	
理事（副学長）	眞　山　滋　志	オブザーバー
理事（副学長）	西　島　章　次	オブザーバー
医学部保健学科長	三　木　明　徳	オブザーバー

＜附属図書館審議会特別 委員会委員名簿　＞

所属・官職	氏　名	備考
附属図書館長	須　藤　健　一	委員長
文学部長 文化学研究科長	松　嶋　隆　二	
経済学研究科長	中　谷　　武	
理学部長	武　田　　廣	
医学分館長	堀　田　　博	

事 務 部 陪 席 者	氏　名	
事務部長	故 選 義 浩	
情報管理課長	石 井 道 悦	
情報サービス課長	山 田 周 治	
情報管理課長補佐	池 川　　敏	
情報サービス課長補佐	北 村 文 男	
企画係長	石 坂 泰 郎	

＜附属図書館運営委員会委員名簿＞

	職　　名	氏　　名	任　　期　　等
図書館長	国文・教授	須藤　健一	H17.4.1～H19.3.31
副館長 （社会科学系・図書委員長）	済・教授	足立　正樹	H17.4.1～H19.3.31
副館長 （自然科学系・図書委員長）	農・教授	青木　健次	H17.4.1～H19.3.31
副館長 （附属図書館評価委員長）	発・教授	三上　和夫	H17.4.1～H19.3.31
医学分館長	医・教授 医・教授	尾原　　秀史 堀田　　博	H16.4.1～H17.5.31 H17.6.1～H19.5.31
海事科学分館長	海・教授	鈴木　三郎	H16.4.1～H18.3.31
文学部・文化学研究科	教　授	毛利　　晶	H17.4.1～H19.3.31
国際文化学部	教　授	定延　利之	H16.10.1～H18.3.31
発達科学部	教　授	中山　修一	H17.4.1～H18.3.31
法学研究科	教　授	飯田　文雄	H17.4.1～H19.3.31
経済学研究科	教　授	重富　公生	H16.4.1～H18.3.31
経営学研究科	教　授	金井　壽宏	H17.4.1～H19.3.31
理学部	教　授	林　　文夫	H16.4.1～H18.3.31
医学部（保健学科）	教　授	傳　　秋光	H16.4.1～H18.3.31
工学部	教　授	三好　旦六	H17.4.1～H19.3.31
農学部	教　授	向井　文雄	H16.4.1～H18.3.31
自然科学研究科	教　授	蛯名　邦禎	H17.4.1～H19.3.31
国際協力研究科	教　授	柴田　明穂	H17.4.1～H18.3.31
経済経営研究所	教　授	富田　昌宏	H17.4.1～H19. 3.31
大学教育推進機構	教　授	米谷　　淳	H17.4.1～H19. 3.31
学術情報基盤センター	教　授	鳩野　逸生	H16.4.1～H18.3.31
附属図書館	事務部長	故選　義浩	官職指定による

＜附属図書館評価委員会委員名簿＞

職　　名 （委員は全て官職指定）	氏　　名	備　　考
図書館長	須藤　健一	
副館長	足立　正樹	
副館長	青木　健次	
副館長	三上　和夫	委員長
医学分館長	尾原　　秀史 堀田　　博	～H17.5.31 H17.6.1～
海事科学分館長	鈴木　三郎	
事務部長	故選　義浩	
情報管理課長	石井　道悦	
情報サービス課長	山田　周治	

＜附属図書館研究開発室会議室員名簿＞

職　　名		氏　　名	備　　考
総括	図書館長	須藤　健一	室長
震災関係資料 電子化部会	副館長（発）	三上　和夫	部会長
	国文・教授	大月　一弘	～H18.3.31
	都市安・教授	沖村　孝	～H18.3.31
	文・助教授	奥村　弘	～H18.3.31
経済関係資料 電子化部会	副館長（済）	足立　正樹	部会長
	研究所・教授	富田　昌宏	～H18.3.31
	経済・教授	重富　公生	～H18.3.31
	海事・教授	石田　憲治	～H18.3.31
学内研究成果 電子化部会	副館長（農）	青木　健次	部会長
	農・助教授	金子　治平	～H18.3.31
	経営・助教授	與三野　禎倫	～H18.3.31
	都市安・教授 （医学系研究科）	鎌江　伊三夫	～H18.3.31
（部会に属さず）	基盤セ・教授	鳩野　逸生	～H18.3.31

平成17年度 附属図書館　予算･決算

単位：千円

事　　項	平成17年度予算配分額	平成17年度決算額	比較増減	摘　　要
経常運営費				
備品・消耗品費	11,170	12,437	△ 1,267	備品費 2,333 事務用品 2,117 事務用図書 623 図書館用品 2,583 用紙類 651 電算消耗品 482 蛍光灯類 415 雑用品 3,234
印刷製本費	2,000	838	1,162	利用案内 575 封筒 263
光熱水料	27,500	23,579	3,921	電気代 17,289 ガス代2,058 水道代 3,571 重油代 661
通信運搬費	5,500	6,160	△ 660	切手代1,094 郵便料 2,893 電話代 422 学内資料搬送 1,584 地下鉄カード等 167
借料及び損料	7,500	8,143	△ 643	複写機 7,160 画像伝送装置 931 タクシー代 52
雑役務等諸経費	35,000	35,593	△ 593	営繕費 2,792 備品修理 189 廃棄物収集運搬 2,448 各種使用料 641 諸会費 186 特高設備 695 清掃委託 4,362 警備委託 2,003 EV保守 5,674 消防設備点検 717 他地区等分担 10,039 蔵書点検 1,251 労働安全衛生対策 1,339 雑費 3,258
非常勤職員給与等	102,000	100,997	1,003	給与 86,115 賞与引当金 3,052 事業主負担分 11,830
電子計算機維持経費	5,000	3,726	1,274	学術情報基盤センター負担金 3,726
職員旅費	1,400	1,101	299	諸会議出張、研修派遣旅費
小　　計	197,070	192,574	4,496	
経常事業費				
時間外開館経費	17,000	16,328	672	
外部委託		7,853	△ 7,853	社会系、医学分館分
開館要員（学生）賃金		8,475	△ 8,475	その他の館室分
電子図書館事業	19,000	21,678	△ 2,678	
外部委託経費（コンテンツ作成）	10,000	10,304	△ 304	
外部委託経費（遡及外注）	5,000	7,436	△ 2,436	
アルバイト経費	3,000	2,737	263	
消耗品費	1,000	1,201	△ 201	
図書館資料費	108,000	110,905	△ 2,905	
図書館資料費（学生用等）	61,000	63,725	△ 2,725	
外国雑誌センター館経費	35,000	30,089	4,911	
電子的情報基盤資料整備経費	12,000	17,091	△ 5,091	SciFinderライセンス料3,565千円（受益者負担分）を含む。
製本費	14,000	14,010	△ 10	
小　計	158,000	162,921	△ 4,921	
運営費＋事業費	355,070	355,495	△ 425	
電算機借料				
図書館業務システム	13,869	13,869	0	海事科学分館分を除く経費（9,348千円）は学術情報基盤センターで一括処理
電子図書館システム	55,410	55,410	0	
小　計	69,279	69,279	0	
経常経費　　計	424,349	424,774	△ 425	

事　　項	平成17年度予算配分額	平成17年度決算額	比較増減	摘　　要
臨時的経費				
図書館経費	91,444	91,444	0	大手電子ジャーナル（Elsevier,Wiley,Springer,Blackwell)の継続利用に必要な外国雑誌購入費の補填及びライセンス料
部局長裁量経費	13,870	30,462	△ 16,592	学術情報基盤センター端末設置 4,369 自然科学系図書館グループ学習室設置 3,708 総合･国際文化学図書館開架書架更新 5,512 サーバ室空調機器更新 1,244 閲覧机･椅子の増設･更新 5,712 各館室の整備 2,255 文書類･和装本の整備 1,990 電子ジャーナルバックファイルの拡充 1,638
収入確保インセンティブ経費	15,075	4,777	10,298	支出はILL他機関支払料金
営繕費	14,578	14,578	0	総合図書館トイレ改修工事
営繕関係費	10,546	10,546	0	総合図書館階段昇降機設置 5,580 自然科学系図書館トイレ壁面タイル補修 4,967
職員厚生経費	112	112	0	
赴任旅費	98	98	0	
前年度清算金	△ 723		△ 723	
小　　計	145,000	152,017	△ 7,017	
その他の臨時的経費			0	
教員等館内複写料金	5,001	0	5,001	
SciFinder 利用者負担金	3,565		3,565	電子的情報基盤資料として支出
小　計	8,566	0	8,566	
外部資金			0	
間接経費	15,000	15,000	0	データベース経費に充当
教育研究活性化支援経費	1,517	1,517	0	機関リポジトリ構築のための基礎調査
科学研究費補助金	15,100	15,100	0	新聞記事文庫コンテンツ作成
山口文庫	54	54	0	
小　計	31,671	31,671	0	
臨時的経費　　計	185,237	183,688	1,549	

図書館セグメント 計	609,586	608,462	1,124

平成17年度 図書資料費実績

(附属図書館セグメント)

館 室 名	学生用図書			電子的情報資料 *	電子ジャーナル コンソーシアム維持費	外国雑誌センター	計 **
	予算額	決算額	比較増減				
総合図書館	16,025	16,029	△ 4	32,091	91,444		139,564
社会科学系図書館	9,539	9,539	0			30,089	39,628
自然科学系図書館	10,431	11,431	△ 1,000				11,431
人文科学図書館	4,095	4,295	△ 200				4,295
国際文化学図書館	4,153	4,153	0				4,153
人間科学図書館	5,084	5,077	7				5,077
経済経営研究所図書館	1,000	1,014	△ 14				1,014
医学分館	4,128	5,628	△ 1,500				5,628
保健科学図書室	3,138	3,152	△ 14				3,152
海事科学分館	3,407	3,407	0				3,407
小 計	61,000	63,725	△ 2,725	32,091	91,444	30,089	217,349

注* 間接経費 受益者負担金を含む

** これ以外に、電子コンテンツ作成費 46,001千円 (科研費補助金を含む)

(部局セグメント)

館 室 名	一般財源 図書資料費		
	館室備付 共同利用	研究室等 備付	計
総合図書館	985	2,601	3,586
社会科学系図書館	114,587	40,380	154,967
自然科学系図書館	54,053	20,550	74,603
人文科学図書館	9,842	13,709	23,551
国際文化学図書館	5,322	14,269	19,591
人間科学図書館	6,096	17,815	23,911
経済経営研究所図書館	32,162	2,825	34,987
医学分館	38,242	12,438	50,680
保健科学図書室	8,260	4,855	13,115
海事科学分館	12,600	3,926	16,526
計	282,149	133,368	415,517

(部局セグメント) (合計)

館 室 名	補助金による購入				合計	(外数) COE等
	科研費	委任経理	受託研究	計		
総合図書館	0	0	0	0	143,150	0
社会科学系図書館	43,296	1,533	939	45,768	240,363	0
自然科学系図書館	10,864	650	2,622	14,136	100,170	7,423
人文科学図書館	16,324	11	703	17,038	44,884	57
国際文化学図書館	4,915	198	112	5,225	28,969	0
人間科学図書館	4,684	0	0	4,684	33,672	0
経済経営研究所図書館	1,494	0	247	1,741	37,742	722
医学分館	1,623	5,580	609	7,812	64,120	0
保健科学図書室	695	0	0	695	16,962	
海事科学分館	687	62	4	753	20,686	0
計	84,582	8,034	5,236	97,852	730,718	8,202

平成１７年度附属図書館活動日誌

＜4月＞

１（金）	一般市民への貸出サービス試行開始（海事科学分館）
６（水）	入学式
	前期時間外開館開始（医学分館は通年、社会科学系は 1 日から）
８（金）	館長・副館長懇談会　＜於：自然科学系図書館＞
１３（水）	留学生ウエルカムセレモニー（図書館ガイダンスを含む）
１４（木）～２０（水）	OPAC ガイダンス　＜於：総合図書館＞
２２（金）	近畿地区国公立大学図書館協議会企画委員会
	＜於：京都大学　出席：館長・部長・両課長＞
	国立大学図書館協会近畿地区協会総会
	＜於：京都大学　出席：館長・部長・両課長＞
２５（月）～２７（水）	附属図書館初任者等研修　＜於：社会科学系図書館ほか　受講：７名＞
２６（火）	兵庫県大学図書館協議会役員会・企画委員会
	＜於：自然科学系図書館　出席：事務部長・両課長ほか＞

＜5月＞

１１（水）	近畿地区医学図書館協議会例会
	＜於：大阪大学　出席：情報管理課長補佐（医学）＞
１１（水）～１７（火）	情報の探し方ガイダンス（初級編）　＜於：自然科学系図書館＞
１６（月）	第 1 回附属図書館運営委員会　＜於：自然科学系図書館＞
１８（水）	兵庫県大学図書館協議会企画委員会
	＜於：甲南大学　出席：事務部長・両課長ほか＞
	第１回保健科学図書室図書委員会
１９（木）	外国雑誌センター館会議
	＜於：一橋大学　出席：管理課長・雑誌情報係長＞
	日本医学図書館協会総会
	＜於：新潟コンベンションセンター　出席：情報管理課補佐（医学）＞
２０（金）	国立大学図書館協会会計監査　＜於：東京大学　出席：管理課長＞
	国立大学図書館協会理事会　＜於：東京大学　出席：管理課長＞
２３（月）～	全学共通科目「情報基礎」授業（計 29 回、再履修等を含み 11 月まで）
２４（火）	個人情報の保護等に関する説明会　＜於：六甲ホール　参加：5 名＞
２６（木）	第１回附属図書館研究開発室会議　＜於：自然科学系図書館＞
２７（金）	海外図書館派遣報告　＜於：図書館プレゼンホール＞
３０（月）～6／3（金）	神戸市立上野中学校トライやるウィーク（４名）
	＜於：社会科学系図書館ほか＞

＜6月＞

１（水）	SciFinder 操作説明会　＜於：自然科学系図書館＞
	第１回経済経営研究所図書委員会
３（金）	第１回海事科学分館図書委員会
８（水）	第１回社会科学系図書館図書委員会
	第１回人文科学図書館図書委員会
８（水）～１０（金）	目録システム地域講習会　＜於：学術情報基盤センター分館＞

１０（金）　近畿地区国公立大学図書館協議会総会
＜於：滋賀県立大学　出席：事務部長・サービス課長＞
１３（月）～１７（金）　情報の探し方ガイダンス（中級編）　＜於：自然科学系図書館＞
１４（火）　第１回 EUIJ 関西図書・WEB 部会実務者打合せ会
＜於：関西学院大学　出席：サービス課長＞
２０（月）～２４（金）　漢籍整理長期研修　＜於：東京大学　受講：人文科学情報サービス係員＞
２１（火）～２３（木）　情報の探し方ガイダンス（社会科学編）　＜於：社会科学系図書館＞
２１（火）　第１回大学図書館近畿イニシアティブ運営委員会
＜於：関西学院大学　出席：事務部長・管理課長＞
２３（木）　第１回国際文化学図書館図書委員会
２４（金）　第２回附属図書館運営委員会　＜於：図書館プレゼンホール＞
２７（月）～３０（金）　兵庫県下教育機関事務系職員新規採用者研修
＜於：神戸大学、淡路青年の家　受講：2 名＞
２９（水）　近畿地区医学図書館協議会等共催シンポジウム実行委員会
＜於：大阪大学　出席：情報管理課補佐（医学）＞
３０（木）　国立大学図書館協会総会
＜於：名古屋大学　出席：館長・事務部長・情報サービス課長＞

＜7月＞

１（金）　第１回医学分館図書委員会
４（月）～１５（金）　大学図書館長期研修　＜於：国立オリンピック記念青少年総合センター
受講：医学情報管理係長＞
６（水）　第２回保健科学図書室図書委員会
１２（火）　総合図書館資料選定委員会
第２回海事科学分館図書委員会
１２（火）～２８（木）　前期試験期特別開館（社会科学系図書館、自然科学系図書館）
１３（水）　第１回人間科学図書館図書委員会
１９（火）　第１回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会
＜於：京都大学　出席：情報管理課補佐（海事）＞
２０（水）　第３回保健科学図書室図書委員会
２２（金）～２８（木）　前期試験期特別開館（総合・国際文化学図書館、人文科学図書館、
人間科学図書館、海事科学分館）
２６（火）　兵庫県大学図書館協議会総会
＜於：甲南大学　出席：館長・部長・両課長ほか＞
３０（土）　前期時間外開館終了（医学分館は通年時間外開館）

＜8月＞

１（月）　アプリケーションソフト研修（エクセルマクロ・VBA）
＜於：基盤センター分館　受講：社会科学系情報サービス係員＞
１（月）～５（金）　書庫整理のため休館（海事科学分館）
１（月）～１２（金）　書庫整理のため休館（人間科学図書館）
３（水）～５（金）　アプリケーションソフト研修（アクセス初級・応用）
＜於：基盤センター分館　受講：3 名＞
４（木）　医学図書館員基礎研修会

＜於：京都大学　受講：医学情報サービス係員＞
１１（木）～１９（金）　書庫整理のため休館（総合・国際文化学図書館）
１６（火）　電源設備点検（停電）のため休館（人間科学を除く六甲台キャンパス各館）
１８（木）～２４（水）　書庫整理のため休館（人文科学図書館）
１９（金）　電源設備点検（停電）のため休館
（総合・国際、社会科学系、経済経営研究所）
２２（月）～３１（水）　書庫整理のため休館（保健科学図書室）
２４（水）　救急講習会　＜於：大教センター講義室　受講：3 名＞
３０（火）～９／２（金）　衛生管理者受験準備講習会　＜於：滝川記念館　受講：2 名＞

＜９月＞
５（月）　アプリケーションソフト研修（エクセル初級）
＜於：基盤センター分館　受講：4 名＞
５（月）～９（金）　漢籍整理長期研修
＜於：東京大学　受講：人文科学情報サービス係員＞
６（火）　アプリケーションソフト研修（エクセル応用）
＜於：基盤センター分館　受講：４名＞
７（水）　アプリケーションソフト研修（ワード）
＜於：基盤センター分館　受講：3 名＞
７（水）～９（金）　目録システム地域講習会
＜於：関西学院大学　受講：電子図書館係員＞
８（木）　アプリケーションソフト研修（パワーポイント）
＜於：基盤センター分館　受講：4 名＞
９（金）　京都大学図書館機構講演会　＜於：京都大学　受講：管理課長＞
１３（火）　第２回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会
＜於：大阪大学　出席：情報管理課補佐（海事）＞
１５（木）～１６（金）　資料電子化研修
＜於：国立国会図書館関西館　受講：電子図書館係長＞
２０（火）　千葉大学リポジトリ公開シンポジウム
＜於：千葉大学　参加：サービス課長＞
２１（水）　第１回館長・分館長・副館長懇談会　＜於：図書館プレゼンホール＞
第１回附属図書館評価委員会　＜於：図書館プレゼンホール＞
第１回全学図書系係長会議　＜於：図書館プレゼンホール＞
第２回人間科学図書館図書委員会
２２（木）　兵庫県大学図書館協議会研究会「資料・情報を読者へ－書店から学ぶこと」
＜於：図書館プレゼンホール　参加：22 名＞
EUIJ 関西ライブラリ 3 大学図書館相互利用協定書調印式
＜於：関西学院大学　出席：館長・事務部長・情報サービス課長＞
２６（月）　兵庫県大学図書館協議会施設見学会
＜於：神戸国際大学　参加：5 名＞
学生対応職員の接遇マナー研修　＜於：理学部　受講：13 名＞
２７（火）　アプリケーションソフト研修（アクセス初級・応用）
＜於：基盤センター分館　受講：2 名＞
２８（水）　学生対応職員の接遇マナー研修　＜於：文学部　受講：11 名＞

＜１０月＞

１（土）	後期時間外開館の開始（医学分館は通年時間外開館）
４（火）	第２回大学図書館近畿イニシアティブ運営委員会 ＜於：立命館大学　出席：部長・サービス課長＞
１１（火）～１４（金）	大学図書館職員講習会 ＜於：京都大学　受講：社会科学系情報サービス係員＞
１２（水）～１４（金）	図書館等職員著作権実務講習会 ＜於：国立オリンピック記念青少年総合センター 受講：医学情報サービス係員＞
１３（金）	第１回附属図書館審議会　＜於：本部大会議室＞ 留学生ウエルカムセレモニー（図書館ガイダンスを含む） ＜於：六甲ホール＞
１７（月）～１９（水）	情報の探し方ガイダンス（中級編）　＜於：自然科学系図書館＞
２１（金）	兵庫県大学図書館協議会講演会「図書館を巡る法制度」 ＜於：図書館プレゼンホール　参加：25 名＞
２４（月）～２６（水）	情報の探し方ガイダンス（初級編）　＜於：総合図書館＞
２４（月）～３０（日）	附属図書館利用者アンケート調査（館内調査）
２５（火）～２８（金）	近畿地区課長補佐研修 ＜於：人事院近畿事務局　受講：情報サービス課補佐＞
２６（水）	第３回海事科学分館図書委員会
２７（木）	国立大学図書館協会理事会 ＜於：北海道大学　出席：館長・サービス課長＞
２８（金）	文献検索ガイダンス　＜於：海事科学部＞

＜１１月＞

２（水）	学生対応職員の接遇マナー研修　＜於：理学部　受講：13 名＞
７（月）～１１（金）	漢籍担当職員講習会（中級） ＜於：京都大学　受講：目録情報係員＞
７（月）～１３（日）	神戸大学附属図書館展示会「近代神戸の足跡」 ＜於：図書館プレゼンホール＞
８（火）～１１（金）	西洋社会科学古典資料講習会 ＜於：一橋大学　受講：図書受入係員＞
９（水）	第２回附属図書館研究開発室会議　＜於：社会科学系図書館＞
１１（金）	近畿地区医学図書館協議会例会 ＜於：和歌山県立医科大学　出席：情報管理課補佐（医学）＞
１４（月）～１６（水）	医学図書館研究会・継続教育コース ＜於：東京歯科大学　受講：医学情報サービス係員＞
１５（火）	第１回附属図書館審議会特別委員会　＜於：社会科学系図書館＞
１６（水）	学生対応職員の接遇マナー研修　＜於：理学部　受講：11 名＞
１６（水）～１７（木）	国立大学図書館協会シンポジュウム（西地区） ＜於：岡山大学　参加：保健科学情報サービス係長＞
１６（水）～１８（金）	学術情報リテラシー教育担当者研修　＜於：大阪大学　受講：2 名＞
１７（木）	近畿地区医学図書館協議会等共催シンポジウム ＜於：大阪大学　参加：情報管理課補佐（医学）＞

書誌調整連絡会議　＜於：国会図書館　出席：情報リテラシー係長＞
１７（木）～１８（金）　科学技術資料研修　＜於：国会図書館関西館　受講：１名＞
１８（金）　年次計画等に関するヒアリング　＜於：本部大会議室＞
２２（火）　第３回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会
＜於：関西学院大学梅田キャンパス 出席：情報管理課補佐（海事）＞
２４（木）　第２回経済経営研究所図書委員会
２５（金）　国立大学図書館協会近畿地区協会事務連絡会
＜於：京都大学　出席：事務部長・両課長＞
第４回保健科学図書室図書委員会
３０（水）～１（木）　NAIST 電子図書館学講座　＜於：奈良先端科学技術大学院大学
受講：自然科学系情報管理係員＞

＜１２月＞

１（木）　第３回附属図書館運営委員会　＜於：図書館プレゼンホール＞
５（月）　第２回附属図書館審議会特別委員会　＜於：社会科学系図書館＞
６（火）　産業医巡視　＜於：総合・国際文化学図書館＞
８（木）～９（金）　大学図書館近畿イニシアティブ初任者研修
＜於：関西学院大学梅田キャンパス　受講：3 名＞
１２（月）　第２回全学図書系係長会議　＜於：図書館プレゼンホール＞
１３（火）　第３回附属図書館審議会特別委員会　＜於：社会科学系図書館＞
１４（水）　第２回人文科学図書館図書委員会
１６（金）　附属図書館研修プログラム「附属図書館所蔵歴史資料の
特徴と管理保存について」＜於：自然科学系図書館　受講：20 名＞
１９（月）　永年勤続者表彰式
＜於：図書館プレゼンホール　対象者：2 名（20 年表彰）＞

＜1月＞

６（金）　第４回附属図書館審議会特別委員会　＜於：社会科学系図書館＞
１１（水）　第３回全学図書系係長会議　＜於：図書館プレゼンホール＞
１２（木）　第２回附属図書館審議会　＜於：本部大会議室＞
１７（火）　第４回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会
＜於：関西学院大学梅田キャンパス 出席：情報管理課補佐（海事）＞
２４（月）　千葉大学リポジトリ勉強会
＜於：千葉大学　出席：情報管理課補佐（海事）＞
第３回大学図書館近畿イニシアティブ運営委員会
＜於：関西大学　受講：事務部長・管理課長＞
２６（木）　第２回医学分館図書委員会
２７（金）　北海道大学リポジトリ勉強会
＜於：北海道大学　出席：保健科学情報サービス係長＞
３０（月）～２／１４（火）　後期試験期特別開館（社会科学系図書館）

＜2月＞

２（木）　第４回海事科学分館図書委員会
３（金）～９（木）　後期試験期特別開館（総合・国際文化学、人文科学、人間科学各館）

３（金）～１５（水）	後期試験期特別開館（自然科学系図書館）
９（木）	長崎大学附属図書館講演会「学術機関リポジトリ」 ＜於：長崎大学　受講：２人＞
１０（金）～１６（木）	後期試験期特別開館（海事科学分館）
１５（木）	広島大学図書館学術講演会 「電子ジャーナル・コンソーシアム最前線レポート」 ＜於：広島大学　受講：雑誌情報係員＞
２０（月）	国立大学図書館協会経営問題委員会 ＜於：大阪大学　出席：サービス課長＞
２１（火）	NACSIS-CAT/ILL 講習会実施検討会議 ＜於：国立情報学研究所　出席：目録情報係員＞
２４（金）	監査法人による期中監査
２４（金）	前期入試前日のため時間外開館休止 （医学分館、社会科学系、自然科学系を除く）
２５（土）	前期入試当日のため休館（医学分館を除く）
２７（月）	第５回附属図書館審議会特別委員会　＜於：社会科学系図書館＞
２８（火）	後期時間外開館終了（医学は通年、社会系は 3 月も時間外開館実施）

＜３月＞

１（水）	第 2 回館長・副館長・分館長懇談会　＜於：図書館プレゼンホール＞ 第 2 回附属図書館評価委員会　＜於：図書館プレゼンホール＞
２（木）	大阪大学附属図書館学術講演会「電子図書館の現状と未来」 ＜於：大阪大学　受講：4 人＞
６（月）	第６回附属図書館審議会特別委員会　＜於：社会科学系図書館＞
９（木）	第３回附属図書館審議会　＜於：本部大会議室＞
１０（金）	私立大学図書館協会京都地区研究会「田中稲城・竹林熊彦文書」 ＜於：同志社大学　受講：３人＞
１２（日）	後期入試のため全館休館
１３（月）	第３回附属図書館研究開発室会議　＜於：社会科学系図書館＞
１５（水）	第４回附属図書館運営委員会　＜於：図書館プレゼンホール＞
１５（水）～２３（木）	開架室書架増設のため臨時休館（総合・国際文化学図書館）
２４（金）	第４回全学図書系係長会議　＜於：自然科学系図書館＞
２４（金）	学位記授与式　＜於：ワールド記念ホール＞
２７（月）	博士学位記授与式　＜於：六甲ホール＞
３１（金）	鶴甲地区施設勉強会